

事業概要：イノベーション創出による農林水産業の生産力強化と需要拡大に向けた人材育成事業

旧制度（推進）

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	616,006千円 (88,570千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	スタートアップ等の新しいアイデアや技術を活用したイノベーション創出による生産力の強化と輸出拡大・地産地消の取組による県産農林水産物の需要拡大を両軸として、本県農林水産業の持続的な発展と地域の活性化に向けた人材の育成を進めていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・農業総合試験場と大学・スタートアップ等の連携強化により、担い手不足等の課題に対応するための農業イノベーション創出を推進する。 ・輸出拡大に向けた産地間連携による販売戦略をブラッシュアップし、海外店舗でのプロモーション（販売促進イベント）を実施するとともに、オンラインでの海外バイヤーと商談する機会を提供する。 ・SDGsに貢献する取組として地産地消のデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組み地産地消を推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「あいち農業イノベーション研究会」を推進母体として、産学官連携による農業イノベーション創出に取り組む。 （委託料、事務費、研修費、研究開発費）60,000千円 ・輸出拡大に向けた産地間連携による販売戦略をブラッシュアップし、海外店舗でのプロモーション（販売促進イベント）を実施するとともに、オンラインでの海外バイヤーと商談する機会を提供する。（委託料、事務費）3,317千円 ・SDGsに貢献する取組として地産地消のデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組み地産地消を推進する。（委託料、負担金、事務費）25,253千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究実施件数（+26件） ②新技術を活用したビジネスモデルの創出件数（+18件） ③農林水産物等を購入する際に愛知県産を優先して購入する割合（+11.8%） ④オンライン商談での商談成約率（+18%）		
URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html	

あいち農業イノベーションプロジェクト推進費



事業概要：都市と地域のベストマッチングによる地域力向上プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	愛知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費	697,852千円 (118,870千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本地域のもつ、バランスの取れた産業構造、豊かな自然、便利な交通アクセスを有する地域の強みを最大限に生かして、東京圏、大阪圏を含む大都市への住民に対してベストマッチングな魅力を提供することで「ひと・しごと」を呼び寄せ、中京大都市圏の「東の拠点」として、また、愛知三島の文化的な強みを生かした特色ある地域として、全国・世界とつながる魅力的な地域を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・人口減少等により顕在化している東三河地域の地域課題に対し、多くの技術や人材を抱える大都市と手を組むことにより解決につなげることで、地域の活性化や関係人口の増加、移住定住の促進につなげる。 ・地域の課題を発見し、解決を図るために起業を行う人材を育成し、雇用の創出を図るとともに、持続可能なビジネスモデルの構築や事業のスケールアップを行うためのネットワークの拡大・強化を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 ・東三河地域の人材確保に向け、大都市圏とのマッチングやイベント等により情報発信などを行う。（委託料、事務費）44,336千円 ・三河山間地域の人材確保・育成に向け、地域の課題を発見し、解決を図るために起業を行う人材の育成などを行う。（委託料、事務費）74,534千円 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①コーディネート機能による、東三河の各地域への訪問回数 (+470回) ②起業家支援セミナー参加者数 (+130人) ③離島地域（日間賀島、篠島、佐久島）の関係人口数 (+1,100人) ④本事業における山間地域関係人口SNSのフォロワー数 (増加数) (+750人)		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho- -sosei/digiden.html (効果検証) <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-
-sosei/0000082498.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho- -sosei/0000082498.html	

事業概要：スタートアップ・エコシステム形成促進プロジェクト

継続

申請者	愛知県						初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	995,954千円 (199,128千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	スタートアップ創出、ユニコーン企業創出を起爆剤とする絶え間ないイノベーション創出を加速させ、日本経済を牽引する国際イノベーション都市づくりを目指していくとともに、地域の産業界、経済界、金融界、大学をはじめ研究教育機関、各種支援機関など、全ての関係者、協力者が一丸となって、スタートアップ・エコシステムの形成を目指していく。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・ユニコーン企業の創出 ユニコーン企業の創出に向け、大学発等のディープテックスタートアップを対象として、複数年度にわたるアクセラレーションプログラムを実施する。専任ディレクターを配置の上、参加スタートアップが有する先端技術の社会実装を加速させるため、自社技術等を活用したパイロット版の社会実装を委託する（1社当たり最大4,000万円、2件以上）とともに、海外展開、資金調達、チームビルディング等を組み合わせた集中的な成長支援を行う。さらに、ディープテック関係者を広く対象としたSNS等による情報発信を推進し、分野特性を踏まえた起業家教育の充実、コミュニティ形成、イベントの開催等を通じて、破壊的イノベーションの創出による本県産業へのインパクト及びディープテック・エコシステムの形成に資する取組を総合的に推進する。 ・スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング 起業を志す人材を呼び込むため、スタートアップ創出プログラムや、起業の機運を醸成させる講演会や勉強会、ワークショップ等を実施する。またスタートアップの採用を支援するため、スタートアップ側の採用ニーズの収集、また、人材マッチングイベントを開催する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ユニコーン企業の創出 ユニコーン企業創出に向けたディープテックスタートアップへの総合的な支援（委託料）150,394千円 ・スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング 学生・社会人などの参加者のステージに応じた起業家の発掘、育成プログラムの開催など（委託料）48,734千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業により支援したスタートアップの資金調達額（投資、融資、補助金、契約額等）（+13億円） ②大学生、社会人向けスタートアップ創出プログラムにより起業につながった件数（+235件） ③人材プールへの登録件数（+250件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

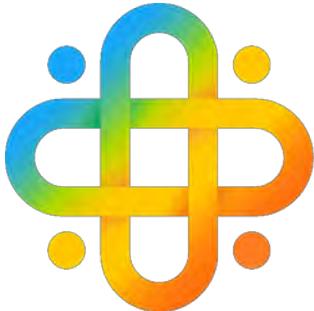
事業概要：外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化事業

継続

申請者	愛知県、名古屋市					初回採択回	令和5年第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	122,000千円 (24,100千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	愛知県、名古屋市、地域の中小企業支援機関及び大学を構成員とする（コンソーシアム）を組織し、外国企業等に対する当地域への進出促進支援を行う。さらに、外国企業と地域企業等のオープンイノベーションを促進するため、当地域の企業や、大学、研究機関とのマッチング等の場を提供することで、当地域の経済力や魅力向上を図っていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」を中心に、外国企業等の誘致から定着までを一体的に支援する。事業統括マネージャーの配置や英語対応の相談窓口、セミナー開催により、外国企業の進出検討や地域企業のオープンイノベーションを促進する。また、外国企業等に対する伴走支援、講座、招へい、商談会、ピッチイベント等を組み合わせたアクセラレーションプログラムを実施する。さらに、外国企業と地域企業・大学・研究機関とのオンライン商談やマッチングを行い、協業・共同研究の機会創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」において、外国企業等の進出の動機付けから定着支援までの外国企業誘致事業を一気通貫で推進する。 ・事業統括マネージャーの配置によるコンソーシアムの運営、セミナーの開催（負担金）2,200千円 ・進出有望な外国企業等の伴走支援、招へい（負担金）11,700千円 ・外国企業等と地域企業とのマッチングによるオープンイノベーションの促進（負担金）10,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業を通じて愛知県・名古屋市へ進出した外国企業等の進出件数（+20社） ②当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等の数（+40社） ③セミナーや商談会への参加者数（+705人） ④外国企業誘致ウェブページ(県・市)の総閲覧数（+21,600件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/0000082498.html

事業概要： あいちデジタルヘルスプロジェクト

旧制度（推進）

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費	1,717,565千円 (347,386千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」が推進母体となり、プロジェクトの基本計画（2023年9月中間案公表。2024年3月策定予定）に基づき、当地域においてヘルスケア分野のイノベーションエコシステムを形成し、ヘルスケア産業の振興と超高齢社会の課題解決の両立を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を推進主体として、ウェアラブルデバイス、AI、PHR等を活用した先行プロジェクトを実施する。フレイルの早期発見・介入、独居高齢者の外出促進、対話型AIによる支援、運動・食事プログラム等の社会実証を行う。あわせて、ポータル・データ連携基盤を構築し、サービス間・関係機関間のデータ連携を推進する。さらに、ユースケースづくりや共創イベント、人材育成、プロモーション等を通じて、デジタルヘルスサービスの社会実装を促進する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・未来技術を活用したヘルスケアサービス・ソリューションの社会実装 産学官連携による実証事業を実施（委託料）159,220千円 ・エコシステム形成に向けたパーソナルデータ連携基盤の構築 ポータル・データ連携基盤の運用と、サービス連携を開始。機能拡張に向けた準備を実施（委託料）88,302千円 ・デジタルヘルスサービスの社会実装促進に向けたユースケースづくり ユースケースづくりに向けた実証と横展開を実施（委託料）48,114千円 ・「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」の活動を通じたエコシステムの形成 コンソーシアムの運営及び各種活動の実施（委託料）51,750千円		
	 あいち デジタルヘルス プロジェクト Aichi Digital Health Project		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+130千人） ②STATION Aiへのヘルスケア関連企業・団体の入居数（+65企業・団体） ③本事業を通じて社会実装されたヘルスケアサービスの件数（+24件） ④本事業を通じてフレイルの早期発見につながった件数（+1,426件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

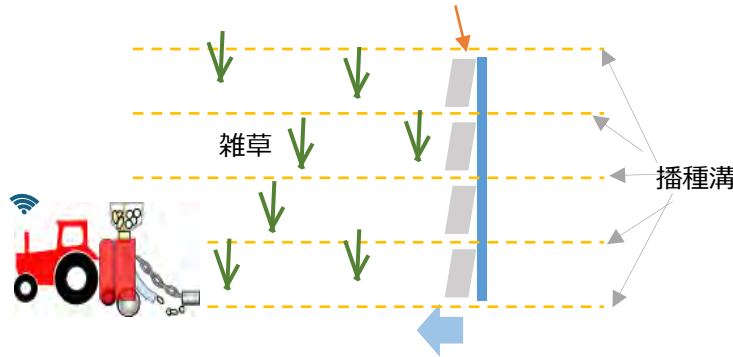
事業概要：あいちモビリティイノベーションプロジェクト

旧制度（推進）

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費	1,239,035千円（172,182千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・ドローン・eVTOL(空飛ぶクルマ)の早期社会実装や、陸モビリティである自動運転車との同時制御により人やモノの移動が最適化された新しいモビリティ社会を実現し、物流クライシスや多様化する人の移動等の社会課題を解決する。 ・市場性、実現性等を考慮した革新的ビジネスモデルを構築し、それを国内外に横展開することで、空と陸の次世代モビリティの需要拡大を図る。 ・産業創出に向けた環境整備やサプライチェーン構築を進めることで、次世代モビリティ産業を愛知県の基幹産業としていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ドローンや空飛ぶクルマ等の次世代モビリティの社会実装に向け、物流・災害対応・観光分野等における持続可能なビジネスモデルの構築や実証を推進する。また、普及啓発や社会受容性向上に取り組むとともに、自動車・航空宇宙産業との連携による人材育成や産業参入支援を実施する。さらに、研究開発・試験飛行・製造拠点の形成やサプライチェーン構築を進め、次世代モビリティ産業の基幹産業化を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 1.物流用高ペイロードドローンの社会実装に向けた取組 ・「離島」「山間地」「住宅地」モデルの実現に向けた伴走支援（委託料）72,252千円 2.eVTOLの社会実装に向けた取組 ・eVTOLの離着陸場等整備に向けた調査・設計の実施（委託料）44,149千円 3.地上空撮ドローンにより作成するデジタルマップの利活用 ・デジタルマップの利活用に係る実証実験の実施（委託料）14,000千円 4.次世代モビリティの基幹産業化に向けた取組 ・新規参入に向けたドローンメーカーと製造業等との共同研究プログラムの実施（委託料）15,000千円 5.ドローンエンジニア人材育成に向けた取組 ・ドローンエンジニア人材育成実施事業者への支援等の実施委託料）16,000千円 6.推進主体の運営 ・プロジェクトチーム会合及びタスクフォース等の開催（委託料）10,781千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+130千人） ②航空機・ロボット製造業従業者数（+1,110人） ③物流ドローンの導入機体数（+16台） ④空飛ぶクルマの運航便数（+270便／週）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-bosei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-bosei/0000082498.html

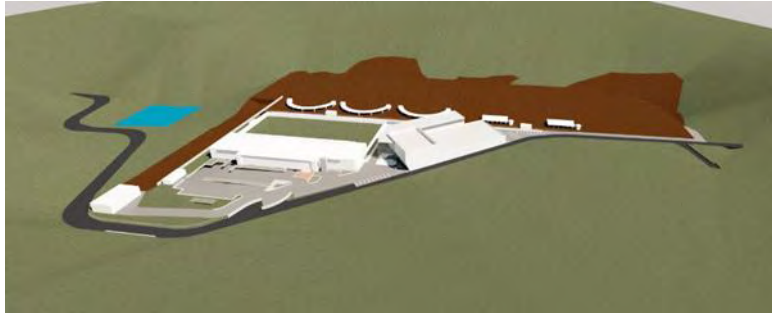
事業概要：農業の生産現場におけるDX・GX活用促進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	183,183千円 (50,976千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農業分野の課題解決に向け、ものづくり県としての本県の強みを生かし、戦略性をもった生産現場のDX・GX化を進める。生産現場の最前線における分野横断的な取組によるテクノロジー活用の強化や、有機農作物の需要拡大に対応する超省力化・超低コスト体系の構築など、持続可能な農業生産の実現とともに、機動性を高めた生産現場での変革を創出することで、本県の農業の一層の発展につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・普及指導員がスタートアップ等と産地をマッチングし、実際の「ほ場」で機器の改良やアプリの開発などにより、生産現場の課題を解決するために必要な新技術を迅速な導入を目指す ・有機農作物の大規模栽培技術を活用した超省力の有機農業生産体系の構築	GPSで位置決めをし、物理的手段で除草する機械の実装  GPSトラクタによる不耕起V溝直播	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○実際の農業者の生産ほ場において、それぞれの生産現場の課題に対応したデジタル技術等の活用・改良・実装を行い、その過程を通じて県の新たな普及指導体制を構築、機動性を高めた生産現場発のイノベーション創出力を強化する。（委託料、事務費等）24,280千円 ○有機農作物の需要拡大を見据え、大規模・超省力有機栽培技術の開発を行うとともに、その持続可能性、経済性を検証する。（委託料、事務費等）26,696千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県における農林水産出荷額（農業）（+228億円） ②スマート農業技術の普及割合（+21.9%） ③有機農業取組面積（+90ha） ④雑草抑制技術の開発（+4件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：野生鳥獣捕獲人材の確保・育成拠点整備

旧制度（拠点）

申請者	愛知県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	3,262,031千円 (2,075,794千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	狩猟の担い手不足・高齢化の課題を解決するため、愛知県総合射撃場の既存機能を活かしつつ、新たな機能を整備することにより、狩猟の担い手の確保及び人材育成を図り、中山間地域の野生鳥獣による農作物の被害を減少させ持続可能な農業を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 愛知県総合射撃場にイベント・研修会も行える多目的ホール、実際の狩猟さながらの臨場感を体験できる射撃シミュレーターやVR機器、ジビエ加工品を利用した食事やお土産の購入ができるカフェや農産物販売所といった機能を新たに付加することで、多くの方々に立ち寄っていただき、気軽に射撃に触れる機会を創出することで、狩猟の担い手の新規獲得・育成につなげる。 さらに、射撃利用者と一般利用者の動線を分離するためのセキュリティフェンスを設置し、マイナンバーカードを活用して射撃場区域への入退場の管理をする。また、マイナンバーカードの情報を活用し、イベント・研修会等のお知らせなどを行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・施設整備等の内容（設備整備・用地造成を除く） 建設工事費 1,980,188千円 工事監理委託費 20,906千円 デジタル設備整備 74,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（農業）（+186億円） ②狩猟免許所持者数（+150人） ③鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リーダー数（+9人） ④総合射撃場利用料金収入（+11,860千円）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：地域の産業を支える多様な人材確保支援事業

継続

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	333,898千円 (115,594千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農林漁業就業希望者等に対する情報発信・相談機能を強化し、地域への参入や所得確保、雇用の創出に向けた取組等を支援することで、農山漁村への人口流入・地域活性化を図る。 ・相談窓口の設置やセミナー開催、伴走型支援により、農林漁業事業者を含む企業の外国人材確保を支援する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・1次産業への就業希望者・企業等に対する情報発信・相談機能を強化し、参入を支援することで、新規就業者数を増加させ、農山漁村への人口流入・地域活性化を図る。 ・外国人材の確保に取り組む中小企業等（農林漁業事業者含む）を支援するため、相談窓口を設置するとともに、セミナーや伴走型支援により、外国人雇用に係るノウハウの提供、きめ細かな支援を行う。 ・海外の優秀な人材を県内企業等に呼び込むため、オンラインによる海外合同企業説明会、インターンシップ受入れモデル事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・農林漁業就業支援オンラインプラットフォームによる情報発信・コンテンツ等の拡充、デジタル広告調査、オンラインプラットフォームを活用した支援体制づくり（委託料、事務費）39,918千円 ・相談窓口の設置及びポータルサイトによる情報発信（委託料）31,149千円 ・セミナーの開催、専門家による伴走型支援及び日本語研修の実施（委託料）18,088千円 ・合同企業説明会の開催及びインターンシップによる外国人材受入れ支援（委託料）26,439千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産就労者数（+750人） ②オンラインプラットフォームへのアクセス件数（+180,000件） ③外国人材確保に関するマッチング成立件数（+75件） ④外国人材活用相談窓口における相談件数（+1,890件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

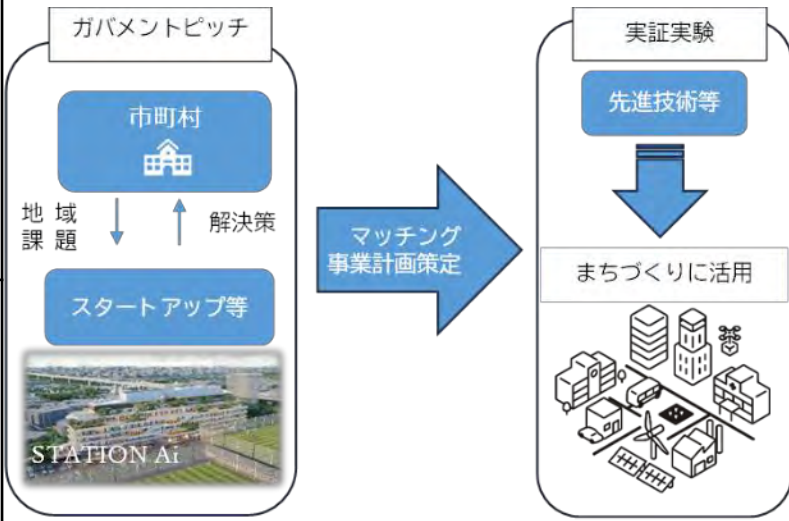
事業概要：大型観光バス車両を活用した世界初の自動運転高速バスプロジェクト

～ドライバーと自動運転の新たな役割分担で移動の自由を守る～

継続

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	310,456千円 (95,923千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	知多半島道路を中心とする高速道路において、全国初、世界でも例がない大型観光バス型の自動運転実現に必要な実証を行い、社会課題である深刻なドライバー不足の解決手段として早期に実装し、訪日外国人による地域へのインパクトを最大化しつつ、プロドライバーと自動運転が役割分担する新しい地域公共交通を目指す。さらに、技術やビジネスモデルを国内外に展開し、愛知、日本の自動車産業の競争力を強化する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・知多半島道路を中心とする高速道路において大型観光バス型の自動運転実現に必要な実証を行う。さらに、技術やビジネスモデルを国内外に展開する。 ・リーディングケースとなる世界初の自動運転高速バスの社会実装プロジェクトの下、スタートアップ、異業種、大学、研究機関、個人など様々なプレイヤーが参画し、取組の機運醸成を図り、新たな企業間連携の促進、新規取組の検討を進めるコミュニティづくりを進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○高速バス自動運転実装推進事業 85,784千円 (主な経費：リスクアセスメント、車両経費、運行経費等) 車両：大型観光バス（1台） 経路：中部国際空港～大府PAを結ぶ高速道路（知多横断道路・知多半島道路、片道約30km） 期間：4か月 内容：走行制御技術の確認、レベル4に向けたデータ取得、外部支援策の検討等 ○自動運転社会実装推進基盤調査事業 10,139千円 ・自動運転に関する国内外の技術面・ビジネス面の基盤調査 ・国プロや民間企業の取組の個別事例調査および当該エリアのビジネスモデルブラッシュアップ ・当該エリアにおけるレベル4認可取得に向けた法令上の課題整理及び関係機関調整、コミュニティ活性化検討						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②自動運転高速バスの走行化可能区間距離（+60km） ③地域間輸送を担う高速バス路線において自動運転を実用化した路線数（+1路線） ④自動運転高速バス再利用意向（+80%） ⑤モビリティDXコミュニティのメンバー数（+170件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	622,251千円 (207,366千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内において次世代バッテリーの研究開発促進を行うことにより、モノづくり企業の生産性の向上を図る。 ・イノベーションの担い手であるスタートアップ業界のダイバーシティを推進し、一層イノベーションの創出されやすい環境を醸成する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ○自動車産業を支える関連企業に向けた支援 ・あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営事業 次世代電池の研究開発促進のためワーキンググループを開催し共同研究組成を支援する。 企業の新規参入促進等を目的にセミナーやマッチング交流会を実施する。 ・人材育成委託事業 高校生を対象とした競技会、小中学生向けに電池教室を開催し、バッテリー利活用・開発人材を育成する。 ○スタートアップのダイバーシティ推進 本県のスタートアップ・エコシステムのダイバーシティを推進するため、女性起業家の創出・成長をはじめ3つのテーマを設定し、各テーマに関してエコシステムの多様性を促進するプログラムを実施する。併せて、セミナー等の開催を通じてエコシステムの多様性に関する機運醸成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営事業（委託料）66,420千円 ・あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営事業（備品購入費）5,707千円 ・人材育成事業（委託料）35,387千円 ・スタートアップダイバーシティ推進事業（委託料）70,800千円 ・オープンイノベーション関連事業（委託料）29,052千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②蓄電池関連産業における共同研究組成数（+18件） ③DXに関する具体的な取組件数（+17件） ④スタートアップ・エコシステムに巻き込んだマイノリティ人材の数（+150人） ⑤新規事業開発のPoC件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	484,703千円 (161,068千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	スタートアップや既存企業等との連携により、県内市町村が抱える地域課題を解決することで、生涯安心で便利な暮らしをおくることができる地域を創出する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・本県に2024年10月にSTATION Aiが開業したことを契機ととらえ、STATION Ai入居スタートアップや既存企業の連携機会を創出するとともに、スタートアップ等の新たな技術や柔軟なアイデアをもとに、人の移動やモノ・サービスを運ぶなど主に自動車の車室空間を活用した新たなビジネスやサービスの発想、実証、実装支援を展開する。 ・大規模災害発生時に、外国人被災者を言語面・情報面で支援することを目的として愛知県が設置する「愛知県災害多言語支援センター」の効果的な運用に向け、外国人被災者の情報収集等に係る仕組みを構築し、外国人住民の安心な暮らしを創生する。 ・デジタルを活用した魅力的なまちづくりを推進するにあたり、県内市町村において課題とされている「ICT等の先進技術により解決できる課題の選定、課題の深掘り」、「課題を解決する先進技術を有するスタートアップ企業とのマッチング」の支援を実施することで、県内全域にデジタルを活用した魅力的なまちづくりを展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○人口減少下における安心・安全の創出 ・車室空間を活用した新たなビジネス創出（使用料及び賃借料、委託費）75,750千円 ・「愛知県災害多言語支援センター」の効果的な運用に向けた取組（委託費、報償費、需用費）18,466千円 ○市町村におけるきめ細やかなまちづくり ・マッチング支援（委託費）16,660千円 ・マッチングした案件の事業化支援（委託費、報償費、旅費、需用費、役務費）50,192千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲53,394人） ②情報収集の仕組みへのアクセス数（＋3件） ③モビリティサービスにおける自動車関連企業とスタートアップ等との連携件数（＋9件） ④市町村とスタートアップのマッチングを経て、事業化まで至った件数（＋15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chihoh-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chihoh-sosei/0000082498.html

事業概要：愛知の特色を活かした人の流れ創出事業

継続

申請者	愛知県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	666,605千円 （386,750千円）
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	「愛知・名古屋2026」や地域資源といった本県が有するポテンシャルを最大限に生かし、愛知ならではの魅力の効果的な発信をおこなうことで、国内外からの人の呼び込みを一層強化していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・「愛知・名古屋2026」の開催を契機として、人口増加が著しく今後の市場拡大が見込まれるアジア圏の外国人をターゲットの中心として事業を実施する。宗教的な障壁を気にすることなく観光を楽しんでいただくため、宿泊施設向けに飲食提供にかかる研修等を実施する。 ・メタバース空間を活用した選手・チーム役員間の交流を実現する「選手間交流事業」を実施する。 ・本県の魅力を国内外へアピールし知名度を向上させる。 ・日本人・外国人問わず、居住地の選択を伴う進学や就職などを控えた若年層に本県の魅力を伝え、若年層の流入・転出抑制を促進する。 ・市・民間と連携し、県内での滞在満足度及び滞在時間の向上に繋げ、国内外からの人の流れを創出する。 ・県が調査した戦争遺跡を地域の歴史的資源として活用するバスツアーを実施し、地域の認知度向上及び周遊型コンテンツの基盤整備を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・運営準備において施設側からの質問等に対応するフォローアップ体制を構築、食材の調達や運営方法の助言、支援の実施、選手・チーム役員間の交流を実現するメタバース空間の運用、選手や来訪者等に対するおもてなしの実施、報道関係者による県内観光地の視察及びOTAと連携したプロモーションと県内観光事業者のOTA掲載の支援等（委託料等） 134,542千円 ・愛知の「発酵食文化」の振興及び国内外への魅力発信による外国人観光客の誘致促進等（負担金等） 54,458千円 ・留学生に対する就職に向けた接点づくりの機会創出及び文化体験や交流等による魅力発信（委託料等） 25,776千円 ・民間事業者と連携したオーブントップバスナイトツアー実施による夜間回遊性の向上（負担金） 30,000千円（愛知県8,848千円、名古屋市8,848千円、対象外経費（民間負担分含む） 12,304千円） ・県庁舎・市庁舎を活用したプロジェクションマッピングの実施による夜間の賑わい創出（負担金等） 110,000千円（愛知県55,000千円、名古屋市55,000千円） ・県内ナイトタイム観光コンテンツの情報集約・発信を行う特設サイトの構築及び広告展開（委託料） 7,169千円 ・スタートアップ等と連携した外国人旅行者の県内周遊を促進する実証事業の実施（委託料等） 35,068千円（県25,682千円、半田市・西尾市・蒲郡市・常滑市計9,000千円） ・県内の戦争遺跡を巡るバスツアーの実施及び紹介コンテンツの作成等（委託料） 2,427千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人延べ宿泊者数（＋824,000人泊） ②「愛知発酵食めぐり（協議会運営サイト）」の外国人アクティブユーザー数（＋5,520人） ③外部人材の交流支援数（＋15件） ④県内大学等を卒業した留学生の国内就職率（＋4.5%） ⑤「愛知県移住・定住ポータルサイト」の年間PV数（＋6,795PV） ⑥戦争遺跡を巡るバスツアーの参加者数（＋40人）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効果 検証の結果及び改善 方策への反映が記載 されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	817,789千円 （286,855千円）
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内全域においてイノベーション・エコシステムの形成を一層加速させることにより、本県に若者をはじめとしたイノベーション人材を呼び込む。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・県内企業・施設が抱える課題と課題に応える先端デジタル技術をもつ企業とをマッチングし、企業・施設での導入につなげるための伴走支援を実施する。 ・インバウンド拡大に資する先端デジタル技術の実装を目指した実証実験を支援する。 ・先端デジタル技術を活用した実証実験を希望する企業・施設やデジタル技術導入を希望する企業・施設の相談及びマッチング、関係企業・官公庁等との調整を行うワンストップ窓口を構築する。 ・革新事業創造プラットフォーム（A-IDEA）の新たな機能として、STATION Ai内に拠点を設置し、同拠点に配置するコンシェルジュの活用により、社会課題解決に資するイノベーションプロジェクトの創出及び県内での社会実装を支援する。 ・中小企業の経営層に対してデジタル化及び人材育成についての理解を促し、具体的な取組へと移行させる。 ・行政が抱える課題の洗い出しを行い、本県がモデル的に課題解決の方策となる技術を持つ企業とのマッチング等を通して、実証実験を行う。 ・BCP未策定の中小・小規模企業を対象に、新たにBCP策定に係る伴走型の支援事業を行うことにより、着実にBCP策定へとつなげていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・空港島エリアを起点としたイノベーション創出（委託料）136,048千円 ・社会課題解決型プロジェクトの創出（委託料）96,688千円 ・中小企業におけるデジタル人材育成の促進（委託料）10,526千円 ・デジタルを活用した行政課題解決（委託料）14,045千円 ・中小企業に向けたBCP策定支援（委託料）29,548千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②先端デジタル技術を活用した課題解決に意欲のある企業・施設等と、その課題解決に資する先端デジタル技術を有する国内外のテック企業、スタートアップ等とのマッチング件数（+30件） ③A-IDEAの会員数（+450者） ④本事業における中小企業デジタル人材育成促進のためのワークショップ・セミナーの参加者数（+2,100人） ⑤行政課題に対する民間企業等からの解決策のマッチング数（+30件） ⑥県内中小企業のBCP（事業継続力強化計画も含む）策定率（+1.05%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/0000082498.html

事業概要：地方創生と地域脱炭素化の好循環加速化事業

継続

申請者	愛知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,143千円 (57,323千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内中小企業の脱炭素化を支援することで企業の中長期的な発展を促進し、県内中小企業の脱炭素経営への転換と、将来的に企業を支える人材の育成や地域の魅力の向上を図る。さらには、地域の多様な主体が連携した取組、自動車産業をはじめとした地域内企業の成長と存続、雇用の創出や転出超過等地域課題の解決に繋げることで、地方創生と地域脱炭素化の好循環の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ○藻場再生による脱炭素市場価値の創出 ・県内において今後藻場を拡大するために、現状の調査や推進体制の確立、藻場やブルーカーボンについての啓発事業を実施する。 ○あいち脱炭素経営支援プラットフォーム ・普段から地域の中小企業等との接点を持っている経済団体や金融機関等と行政が一体となって、地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営を支援することを目的として、2023年11月に設立した「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を核として、行政、経済団体、金融機関が連携して脱炭素経営に係る支援メニューを提供することにより、脱炭素化の取組に対する支援の強化を進める。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○藻場再生による脱炭素市場価値の創出（委託料、事務費）41,104千円 ・藻場生態系調査 ・推進体制づくり ・イベント等での情報発信 ○あいち脱炭素経営支援プラットフォーム事業費（委託料、事務費）16,219千円 ・あいち脱炭素経営支援プラットフォームの運営 ・中小事業者向け伴走型省エネ診断 ・脱炭素経営体制構築のためのコンサルティング支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②地域の人口・世帯数（▲53,394人） ③藻場再生推進協議会（仮称）の加盟企業数（+15社） ④伴走型省エネ診断受診事業者数（+129者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：「選ばれる愛知」を目指す拠点機能強化事業

継続

申請者	愛知県ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	628,225千円 （252,214千円）
事業分野	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	多様化する行政ニーズに柔軟に対応するため、県内の公の施設において、ユニットハウス等の整備を進め、機能性向上による施設の魅力を引き出すことで、愛知県の魅力を一層高め、県内外から「選ばれる愛知」を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 県内各所に点在する公の施設が抱える多様な課題を同時並行的に解決し、将来像の実現を図るため、既存施設を補完する拡充施設として、各施設の利活用目的に応じて柔軟な運用が可能なユニットハウス・ムービングハウスを整備する。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・愛知県 建築物整備：ユニットハウス（愛知県総合射撃場、一宮総合運動場、口論議運動公園、愛知国際アリーナ） 131,754千円 設備整備・用地造成等：ユニットハウス関連経費（県営都市公園） 49,563千円 備品整備：ユニットハウス関連経費（県営都市公園） 28,119千円 ・名古屋市 建築物整備：ユニットハウス（稲永公園、名古屋市市政資料館）： 33,412千円 ・東浦町 設備整備・用地造成等：トイレカー（1台） 8,561千円 備品整備：トイレカーへ接続する外部電源 805千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲88,990人） ②観光入込客数（+16,350千人） ③年間利用者数（+512,206人） ④年間利用料収入（+1,800千円） ⑤イベント等開催数（+233回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

※愛知県名古屋市、北名古屋市、みよし市、東浦町の広域連携事業

事業概要：渥美半島サイクルツーリズム推進事業

継続

申請者	愛知県、田原市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	1,542,156千円 （200,156千円）
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	日本を代表し、世界に誇りうるナショナルサイクルルートに指定されている太平洋岸自転車道において、プロモーション動画等による国内外への情報発信や、サイクリストが立ち寄りやすい受入環境の整備、さらに、自転車通行空間等の整備による安全な自転車走行環境の向上により、渥美半島サイクルツーリズムの魅力を高め、国内外からの来訪者を増加させることで、渥美半島地域のさらなる地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 PR資料（HP、プロモーション動画）による国内外への情報発信や、地元観光協会と連携したデジタルスタンプラリーの実施により、渥美半島地域に来訪するきっかけを作る。 また、サイクルバスの導入など、サイクリストが立ち寄りやすい受入環境の整備を実施することにより、多くのサイクリストに選ばれる地域を目指す。 これらの取組とあわせて自転車通行空間等の整備による安全な自転車走行環境の向上させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・力量に応じたルート立案、HP・PR動画の作成 事業費 15,000千円 ○拠点整備事業 ・駐車場整備、サイクルラック設置、サイクルバス設置 事業費 28,156千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業（自転車通行空間、路面表示、案内看板設置等の整備費） 事業費 157,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①渥美半島地域（豊橋市、田原市）の道の駅売上額（+350百万円） ②渥美半島地域（豊橋市、田原市）の観光レクリエーション利用者数（+875千人） ③モデルルート（太平洋岸自転車道）上にあるサイクルステーションの観光入り込み客数（+207千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：最先端デジタル技術等を活用した社会課題解決型未来都市実現プロジェクト

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域が抱える複雑な社会課題について、最先端のデジタル技術やサービスの活用により解決を図る未来都市の実現を目指す。 ・生成AIをはじめとする先進的な技術の展開を図ることで、地域の製造業における労働生産性を向上させ、既存産業の生産性を高め、地域産業の付加価値向上や販路開拓につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 「①サービス（主に人手不足への対応）」、「②エコシステム（主に産業競争力の確保・強化への対応）」、「③プラットフォーム（主にエネルギー問題や都市の維持への対応）」の領域において、愛知県が主導して俯瞰的かつ横断的に課題等を分析するとともに、民間事業者を含む研究会や庁内会議を活用して分野間の連携を促進し、相乗効果を生み出しつつ、外部有識者（専門家）の知見も取り入れながら、地域の実情に応じた、民間事業者等による自立可能な導入のあり方を検討し、先進事例の県内展開を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 少子高齢化や人手不足、気候変動やエネルギー問題、デジタル技術の進展に伴う産業構造の変化など、近年、様々な分野に跨る複雑な社会課題について、俯瞰的かつ分野横断的に分析し、様々な主体と連携しながら、最先端のデジタル技術やサービスの活用による具体的な解決策を策定するための調査検討（委託料、報償費）20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主な対象エリアにおける先端技術・サービスの実装件数(+3件) ②サービス領域における具体的な課題解決策の策定件数(+6件) ③エコシステム領域における具体的な課題解決策の策定件数(+3件) ④プラットフォーム領域における具体的な課題解決策の策定件数(+9件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

主な実施フィールド（常滑市）

事業概要： 次世代モビリティサービスの実装に向けたイノベーション創発モビリティリージョンプロジェクト

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	951,402千円 (317,134千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自動車産業が変化に対応し、新規参入も含めたプレイヤーが愛知で磨いた新しい技術・サービスを核にグローバルで稼ぐ力を発揮する。 ・挑戦が集まり、高度で安価な次世代モビリティの社会実装・全国展開をリードする「イノベーション創発モビリティリージョン」を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ○ 技術的難易度が高い名古屋市中心部や郊外部等の走行環境において、高い技術レベルが求められるオンデマンド自動運転タクシー核とした次世代モビリティサービスを設計・運行。 ○ ロボットタクシーとドライバータクシーで役割分担する運行のあり方を環境整備、社会受容性、事業化加速の観点で実証。 ○ ロボットタクシーサービスの諸課題・論点を明確化し、民間事業者参入促進のための協調領域として規制当局への働きかけや商用化に向けた事業設計支援を実施。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ オンデマンド自動運転タクシー実装推進事業（委託料）317,134千円 ・移動の目的地となる市街地の乗降地点周辺の自動走行技術の確認 ・当該エリアにおけるオンデマンドサービスモデルの有効性検討 ・課題となる法令の論点を明確化し所管機関への働きかけ ・最先端の自動運転タクシー事業を行えるよう体制、事業構築の支援 ・運転席無人を想定したタクシー乗車体験を提供し、受容性を把握・向上						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②地域における自動運転タクシー等の次世代モビリティサービスの提供数（+2件） ③次世代モビリティサービスの実証実験件数（+17件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ch-ih-osei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ch-ih-osei/0000082498.html

事業概要：国際スポーツ大会等を活用した地域活性化事業

新規

申請者	愛知県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	143,424千円 (29,428千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	・三河地方の人口減少による経済活動等の縮小という課題に対し、国際スポーツ大会の集客力により、インバウンドを取り込み、交流人口・関係人口の拡大、大会を端緒とした飲食・宿泊・観光・特産品の販売など周辺産業への経済波及効果を生み出す。 ・また、国際スポーツ大会のもつ情報発信力により、地域の観光資源や特産品を世界にPRするとともに、スポーツとのコラボ商品開発やオンライン販売など、地場産業の付加価値向上や販路拡大等を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R8年度事業費	【事業概要】 ・三河地方の地域資源である海・山・川を最大限活用することができ、世界的に人気があり、多くの参加者を確保できるトライアスロンやトレイルランニングなど複数のエンデュランススポーツの国際大会（アイアンマン・byUTMB）を、三河地方の地元企業が中心となって招致・開催することとなっている。 ・本事業は、同大会が持つ集客力や情報発信力等を最大限活用するため、県・開催市町村、商工会、観光協会等を構成団体とする「自治体連携事業推進協議会」を令和 8 年度に立上げ、①大会や合宿等でも使われる魅力あるコースづくり、②このコースの国内外へのPRや地元住民への理解促進、③大会を活かした観光資源や特産品の国内外へのPRを推進し、「エンデュランススポーツの聖地」というブランドを確立する。 (参考：国際スポーツ大会のスケジュール) 令和 8 年度 実行委員会立上げ（地元企業が主体となって組織） 令和 9 年度 第 1 回byUTMB（トレイルランニングの国際大会） 令和10年度 第 1 回アイアンマン（トライアスロンの国際大会）、第 2 回byUTMB						《トライアスロン》 スイム・バイク・ランの3種目を、1人のアスリートが連続して行う競技。 「アイアンマン」は、長距離トライアスロンの国際大会。世界で年間40以上のレースが開催されている。
	【R8年度事業 経費内訳】 ①エンデュランススポーツの聖地構築事業（負担金）18,930千円 (うち、施設整備・事業設備・備品経費分 5,050千円) ②エンデュランススポーツの聖地化に向けた機運醸成事業(負担金)4,817千円 ③アイアンマン・byUTMBを活かした地域振興事業（負担金）5,681千円					《トレイルランニング》 林道・登山道など自然の中を駆け抜ける競技。 「byUTMB」は、その国際大会。世界で年間50以上のレースが開催されている。 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①三河地方における年間観光入込客数（+ 600万人） ②アイアンマン、byUTMB及び地域住民への理解促進事業の参加者数（+ 4,700人） ③アイアンマン、byUTMBによる三河地方への経済波及効果（+ 30億円） ④東三河地域における年間宿泊者数（+ 19万人）					URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

※愛知県、蒲郡市、幸田町の広域連携事業

事業概要：持続可能な地域のための活性化事業

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	264,966千円 （88,322千円）
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	・人口減少、少子高齢化社会に向け、生産年齢人口の減少を踏まえ、外国人材や急速に発展する高度な技術を取り入れるとともに、産業を支える人材の育成・確保や円滑な事業承継を図り、持続可能な地域産業を構築していく。 ・急激な社会経済情勢の変化に的確に対応するため、産官学連携や域内の広域連携を一層強化し地域の活性化を図る。 ・多様な働き方への対応や、外国人労働者の受け入れ体制の整備など、新たな雇用機会の創出に繋げることで、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業 費	【事業概要】 ＜東三河地域＞ ・東三河地域に所在する学生と協働して、政策立案シミュレーションまで行う連携講座を実施し、地域に貢献する人材の育成につなげる。 ＜三河山間地域＞ ・地域外の大学研究室等のフィールドワークを受け入れることにより、地域の課題解決に加え、関係人口の創出に繋がる取組等を実施する。 ＜奥三河地域＞ ・年間を通じた働く場の確保が可能か調査を行い、地域の担い手不足を解消する仕組等を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○東三河地域活力創出事業費 ・政策立案シミュレーション連携講座の実施等（委託料）29,382千円 ○山村振興ビジョン推進費（あいちの山里地域共創創出事業費等） ・大学研究室等のフィールドワークの受け入れ等（委託料）41,505千円 ○山村振興ビジョン推進費（持続可能な奥三河創生事業費） ・地域の担い手不足を解消する仕組等を構築（委託料）17,435千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画にお ける「KPI増加分の累計」の目標値	①三河山間地域の人口（▲4,500人） ②実際にバス会社へ就職した外国人の人数（＋3人） ③東三河地域が有する農業のポテンシャルをPRするイベントをきっかけとして行われた企業のマッチング件数（＋9件） ④マルチワーカーの受け入れが可能な奥三河地域の事業者数（＋8者） ⑤登山アプリ内に開設する奥三河地域の公式アカウントのフォロワー数（＋4,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実 施体制・効果検証の結果及 び改善方策への反映が記載 されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih o-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih o-sosei/0000082498.html

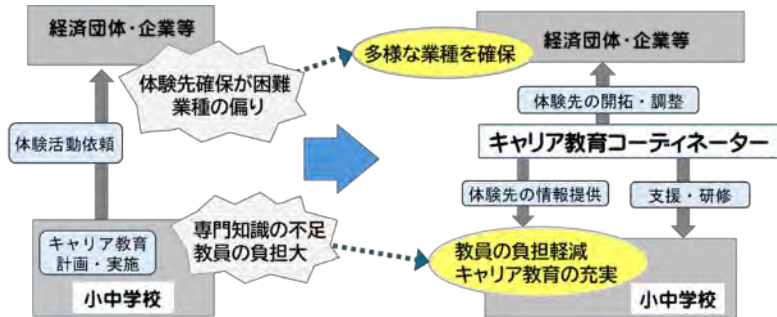
事業概要：先進技術を活用した地域課題解決促進事業

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和 8 年 1 月募集							
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,678千円 (42,226千円)							
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業									
目的・効果	・サービスロボットの運用モデルを広く発信させることで、ロボット導入の横展開を促進させる。 ・生成AI教室の開催を通じて、高齢者が自信を持ってデジタル技術を活用し、地域社会の一員として活躍できる社会を目指す。 ・誰もが生涯にわたって、希望や生きがいを持って暮らしていける魅力ある地域づくりを進めることで、地域の人口維持を図っていく。 ・ロボット技術の導入をより一層進めることで、介護現場における業務の改善を図り、ロボット産業の発展に寄与する。													
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・介護現場において、業務改善に資する介護ロボットの導入・活用を支援し、介護ロボットの活用を促進する。 ・サービスロボットの活用が進まない領域におけるロボット導入時の課題、効果を明らかにし、広く発信する。 ・高齢者向けに講座を実施し、自ら生成AIをすることができる高齢者を育成し、地域のデジタル人材としての活躍を促進する。					事業イメージ（参考）								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○介護ロボット活用現場改善促進 ・現状分析、改善提案などによる業務の見直しとロボット技術の導入を一体的に進めることで介護現場の業務改善を実施（委託料）11,368千円 ○サービスロボット社会実装支援 ・実環境における実証実験を伴走支援し、その領域のロボット導入における課題を明らかにする（委託料）27,074千円 ○高齢者生成 A I 活用促進事業 ・高齢者向け生成AI教室を実施（委託料）3,784千円					<table><tr><td colspan="2">介護ロボット活用現場改善促進</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>警備ロボット 実証実験</td><td>農産物搬送ロボット 実証実験</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		介護ロボット活用現場改善促進				警備ロボット 実証実験	農産物搬送ロボット 実証実験	
介護ロボット活用現場改善促進														
														
警備ロボット 実証実験	農産物搬送ロボット 実証実験													
														
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の転出入者数（+9,999人） ②「介護ロボット」分野での現場改善件数（+ 6 件） ③「介護ロボット」分野での相談対応件数（+ 60件） ④「サービスロボット」分野での実証支援件数（+ 15件） ⑤「サービスロボット」分野での運用件数（+ 10件） ⑥高齢者向け生成AI教室の開催件数（+ 60回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chihoh-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chihoh-sosei/0000082498.html							

事業概要：産・官・学連携教育推進事業

新規

申請者	愛知県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	156,830千円 (49,590千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・若年層に向けた地元への誇りと愛着の醸成、地元定着の促進を一層図ることで、東京圏等への人口流出を抑え、交流人口や関係人口の創出・拡大、移住・定住、地域と継続的につながる仕組みの構築を促進していく。また、地域における核となる人材の育成を進めていく。 ・これからの未来を担う若者が地域社会に貢献できる人材として成長し、持続可能な社会の構築に寄与することを目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ONPOと大学生と一緒に、SDGsに取り組む企業等との協働に向けた企画提案等を行う。 ○プラットフォーム（ウェブページ）の構築や探究発表会の開催などにより、高等学校と地域の企業や機関等との連携を推進する体制の構築を図る。 ○キャリア教育コーディネーターを活用し、キャリア教育の促進を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若者力によるNPOと企業の協働促進事業費 ・NPOと企業の協働アワード等（委託料等）：5,462千円 ○あいち探究学習推進事業費 ・プラットフォーム構築費、探究発表会開催費等（委託料等）：9,912千円 ○キャリア教育推進事業費（キャリア教育コーディネーター活用事業費） ・キャリア教育コーディネーター派遣費（委託料）34,216千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の転出入者数（+9,999人） ②若者力で社会を変えるセミナーに参加した大学生の人数（+90人） ③地域の企業・機関等と連携している学校の数（+42校） ④プラットフォームのコンテンツの閲覧数（+20,500回） ⑤職場体験活動の実施率（中学校）（+5.3%） ⑥全国募集により入学した生徒の数（+60人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

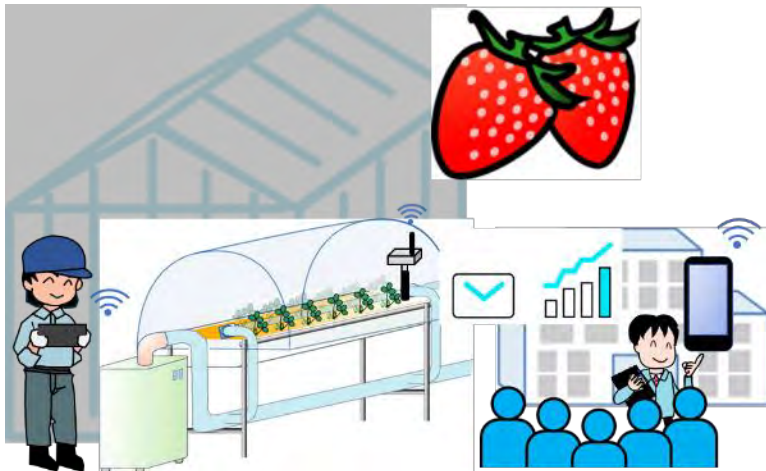
事業概要：SDGsの理念を踏まえた地方創生加速化事業

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	362,591千円 (131,320千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	経済の活性化と環境保全の循環を一層加速させるため、官民の連携により、市場形成・需要の創出に繋がる新たな取組を実施する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・県内の中小企業に対して、2027年1月から適用されるS B T新基準に合致した温室効果ガス削減目標設定等を支援する。 ・地球温暖化対策に関心を持ち、取り組める県民の裾野を広げるため、ユース世代や無関心層を始めとした多様な主体の意識改革・行動変容を促す。 ・燃料電池等の次世代エネルギー技術を活用する実証を行い、県内に広く展開可能な新たな水素利活用モデルの確立を図る。 ・県産スギ・ヒノキを使用した横架材等の構造用部材の研究開発と成果の普及を図ることにより、非住宅建築物の木造化を推進する。					 木材実大強度試験機	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県内中小企業を対象に、S B T新基準に合致した温室効果ガス排出削減目標の設定等の支援を行う。(委託料：14,900千円、事務費：24千円) ・ユース世代をターゲットとして、名古屋グランパスエイトの関係者等と連携し「カーボンニュートラル×スポーツ」をテーマとしたワークショップ等を開催する。 (委託料：9,301千円、事務費：123千円) ・水素需要の拡大に向けて、燃料電池等の次世代エネルギー技術を活用する実証実験を行う。(委託料：94,230千円) ・県産木材を活用するため、重ね梁等の強度性能を把握するための予備的な試験を行う。(委託料：1,452千円、役務費等：573千円) ・広範な建築現場に対応できる重ね梁等の多様な部材を開発するため、大断面かつ長大な木材部材や木材製品の性能を試験する実大強度試験機を機能向上する(備品購入費：25,641千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数(+150千人) ②サプライチェーンや業界団体等における先行支援事例展開の件数(+10件) ③ブースへの来場者数(+80人) ④水素・アンモニア需要創出件数(+15件) ⑤実大強度試験機の利用回数(+440件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：気候変動に負けない！技術革新×人材確保で実現する地域農業創造プロジェクト

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	158,445千円 (55,676千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	気候変動の影響を克服し、担い手の確保と育成を進めるため、新たな生産技術の開発と普及、有機農業の推進に取り組む。農業経営の安定や生産性の向上、農業者の確保育成を進めることで、加工・観光・小売等も含めた販路の拡大を直接的に後押しし、農業の付加価値を高め、地域経済の維持及び拡大につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・本県のオリジナルイチゴ新品種である「愛経4号」を対象に、近年の夏季異常高温を克服し、ブランド価値の向上につながる新技術等の開発と普及に取り組む。 ・水田作における栽培管理支援ツール『AgriLook®（愛知県版）』のシステムの安定運用及び気候変動に対応した生産性の向上に取り組む。 ・有機農業に特化した人材育成体制の構築と定着拡大支援を行う。					 イチゴ長期安定生産支援システム等の開発・普及	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・低コストで高効率な局所冷却技術やA Iを活用した長期安定生産支援システムの開発、炭疽病抵抗性に関わるDNAマーカーの作成など（委託料：10,470千円、事務費：13,991千円） ・稲・小麦・大豆の栽培管理支援ツール『AgriLook®愛知県版』の生育ステージ予測精度の向上及び、新たに生産者向けのアプリの開発（委託料：9,301千円、事務費：4,857千円） ・有機農業実践講座の開設及び継続的な有機農業講座研修体制構築に向けた調査、可能性の高い販路確保に向けたモデルの構築と生産者と流通・加工業者等とのマッチング（委託料：5,331千円、事務費：73千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県の農業産出額（+89億円） ②愛知県のイチゴ産出額（+9億円） ③「AgriLook（愛知県版）」アプリ利用者数（+24人） ④新規参入者数に占める有機農業での新規就農者数の割合（+1%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要：愛知の企業力強化推進事業

新規

申請者	愛知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	693,007千円 (235,709千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様な産業に支えられる安定的な経済基盤の形成を目指し、企業の成長を後押しする施策を一体的に展開することで、企業力の底上げを図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・スタートアップの製品・サービスとのマッチングを行うとともに、県及び県内市町村においてスタートアップの製品等をトライアル利用する。 ・県内中小企業に対し、採用活動に係る支援を行う。 ・将来の建設業を担っていく若い世代に対して、土木のしごとの魅力を発信する。 ・本県の産業を支える中小企業において、企業の置かれている状況やデジタル化のフェーズに応じたきめの細かい支援を実施する。 ・士業、商工団体等の支援機関を対象とした研修やデジタル人材育成プログラムを実施する。 ・中小企業の後継者がワークショップ形式で企業変革の方法を学ぶとともに、企業変革プランを策定するプログラム等を実施する。 ・商店街の課題解決に携わる意欲のある人材を商店街の担い手として育成するため、募集した人材に対してワークショップを実施する。					 STATION Ai	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スタートアップの製品等のトライアル利用等を実施する。(委託料：66,886千円) ・中小企業を対象に、デジタル化の度合や課題を診断し、状況に応じた最適なデジタル支援策へ案内する等の支援を行う。(委託料：67,970千円) ・士業、商工団体等の支援機関を対象として、講師派遣型の研修等を実施する。(委託料：12,780千円) ・県内企業が自社ブランディングの方法等を学ぶセミナーの開催、採用戦略の立案等に係る伴走支援等を実施する。(委託料：24,696千円、補助金：6,000千円、事務費等：17千円) ・小学生やその保護者を対象に、ドローンによる3D測量やICT建設機械などの新技術をリアルに体験する「体験型イベント」を実施する。(委託料：17,036千円) ・セミナーや県内の支援機関・金融機関等の多様な主体による後継者の掘り起こしを行い、後継者が行う企業変革プランの策定を支援する。(委託料：33,264千円) ・商店街の担い手の発掘及び育成のため、ワークショップを実施する。(委託料：7,060千円)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+150千人） ②スタートアップの製品等のトライアル利用数（+54件） ③企業に対するデジタル化支援件数（+30件） ④企業変革プランの策定数（+180件） ⑤伴走型支援の実施企業数'（累計）（+90社） ⑥建設業の仕事の理解度（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/digiden.html （効果検証） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

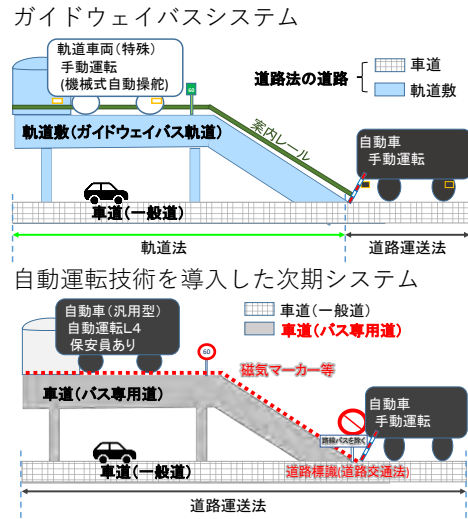
事業概要：菱池遊水地 未来共創プロジェクト

新規

申請者	愛知県、幸田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,210,000千円 (151,728千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 大規模地震等の災害時には、外部の応援団体の集結拠点とし、町民のくらしの安心・安全を確保する。 - 幸田町の内外から多くの人が集い、多世代が交流できる拠点及びスポーツ施設を整備し、また、主体的に環境学習ができる拠点を整備することにより、定住人口の促進を図り、製造業を中心としたものづくり企業の雇用を創出し、地場産業の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 愛知県幸田町の中心に位置する菱池遊水地は、洪水時に浸水被害を軽減する重要な治水施設であるが、約19haという広大な上部空間を活用し、町内はもとより町外から多世代の人を呼び込み、交流できるスポーツ施設(公園ゾーン)や、主体的に環境学習ができる拠点(自然環境ゾーン)を整備し、定住人口の促進を図り、製造業を中心としたものづくり企業の雇用を創出し、地場産業の活性化を図る。また、大規模地震等の災害時には、外部の応援団体の集結拠点とし、町民のくらしの安心・安全を確保する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ※R8年度は0千円 ・環境学習用教材作成のための生物調査、環境調査の実施 ・活用検討及び広報資料検討業務委託経費、環境学習イベントの開催 ○拠点整備事業経費 ・多目的広場、スポーツイベントの開催拠点整備 68,728千円 ・自然環境ゾーン環境学習拠点整備 80,000千円 ○インフラ整備事業経費 ・アクセスを向上させるための道路拡幅事業 3,000千円						
主なKPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域の人口・世帯数（生産年齢人口等の社会減の抑制）（+200人） ②施設整備を契機とした、スポーツ施設に対する満足度（+10%） ③施設の利用者数（+100,000人） ④スポーツ大会・環境学習等の参加者数（+100人）					URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ch-ih-osei/digiden.html (効果検証) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ch-ih-osei/0000082498.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：自動運転バス導入検討プロジェクト

継続

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	213,503千円 (50,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市北東部の基幹的な公共交通であるゆとりーとラインが採用しているガイドウェイバスシステム（案内装置の誘導によりバスのハンドル操作を自動化）は、本市以外に採用実績がなく、事業の継続が困難な状況となっている。本事業では、これを自動運転バスに転換するために必要な技術面や法制度への整合化について検討していくものである。この取組は、どこにでも展開できる汎用的なデジタル基盤を実装することを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・自動運転バスを活用した公共輸送システムの事業計画の作成 事業計画を策定し、本市の事業化のための意思決定、自動運転システム開発企業やバス事業者の協力取付に使う。 この業務にはプロジェクトマネジメントを行う人材を充てることを求め、自動運転社会実装プロジェクト全体の推進を図る。					 ゆとりーとライン	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自動運転バスを活用した公共輸送システムの事業計画の作成： 50,000千円（委託料） 自動運転バスを活用した公共輸送システムの運用に必要な施設・設備、運用のための必要人員を整理し、イニシャルコスト及びランニングコストの妥当な目標値を定める。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に関わったデジタル人材の人数（+55人） ②普及啓発ウェブサイト閲覧回数（+15,500回） ③ゆとりーとライン沿線の小学校区の人口（+3,200人） ④本プロジェクトのリーダーとして従事するデジタル人材の人数（+2人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：産学官連携による「学生が集まり、活躍できるまちづくりプロジェクト」

継続

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,607千円 (13,642千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	圏域の大学の魅力発信等を通じ、東京をはじめとした全国より学生が集まり、学生が主体的に行政、大学、企業などと連携して社会課題の解決やまちづくりに取り組むことにより、若者が明るい未来を思い描き、いきいきと活躍できる都市を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・少子化による18歳人口の減少を踏まえ、学生を圏域内外から呼び込むため、大学への進学を検討している高校生やその家族、関係者を対象として、圏域の大学情報や地域の魅力を一元的に発信していく「大学魅力発信ウェブサイト」を制作するとともに、インターネット広告やイベントの実施を通じて、制作したウェブサイトを効果的に発信していく。 ・学生が主体的に行政、大学、企業などと連携して社会課題の解決やまちづくりに取り組むことができるように、学生と行政等をつなぐ「学生連携プラットフォーム」の仕組みを導入し、産学官金言の多様なステークホルダーが参画する学生主体のコミュニティを醸成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○大学魅力発信事業 ・ウェブサイト運用経費、特集記事の作成（委託事業）924千円 ・動画作成及び広告経費（委託事業）2,000千円 ○学生連携プラットフォーム ・プラットフォームサービス利用料等 6,574千円 ・プラットフォーム運用コーディネート業務(委託事業) 4,144千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における大学・短期大学の学生数（+364人） ②プラットフォームでの連携事業数（年間）（+24件） ③ウェブサイトのアクセス数（月平均）（+1,800件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：海外スタートアップ等を軸にした産業競争力強化事業

継続

申請者	愛知県名古屋市、静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,000千円 (49,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	働く世代を中心に首都圏へ転出超過となっている現状を踏まえ、当地域が若い世代にとって「働く場所」として魅力的な都市となるよう、当地域の特性を活かした産業の活性化やイノベーションの基盤となる企業の集積、雇用の創出等を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 当地域とビジネス的に親和性が高い国・地域を調査し、日本でのビジネス展開に関心のあるスタートアップの掘り起こしを行う。また、それらのスタートアップが効率的に当地域の事業会社と接点を持つことができるよう、ブース展示の機会を提供し、さらに当地域を中心とした事業会社とのマッチング・商談会を行う。 加えて、海外展開を志向する当地域の有望なスタートアップ群を対象としたピッチコンテストを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・名古屋市及び浜松市が拠出する負担金を活動原資とする 海外エコシステムの調査・連携強化（委託料）8,400千円 ピッチコンテストの開催（委託料）21,400千円 スタートアップと当地域の事業会社とのマッチング・商談会の実施（委託料）19,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業者数（スタートアップの起業数及び進出企業数）（+300社） ②ビジネスマッチング等の支援事業を通じて、スタートアップと事業会社等との間に新たに結ばれた取引・提携件数（+45件） ③支援事業を活用して行われたスタートアップと事業会社等との商談（ビジネスマッチング）件数（+360件） ④本事業に参加した企業数（+180社） ⑤本事業に参加した企業が登記している国数（+9か国） ⑥連携強化国からの本事業参加者数（+180人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(名古屋市) https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,000千円 (16,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 トイレカーを購入し、地域の防災訓練等で継続的に快適トイレの展示・啓発を行うことで、市民に対して防災意識を啓発する。また、災害時には快適トイレとして使用し、他自治体が被災した際には被災自治体への支援に活用する。					 トイレカー	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・トイレカーの導入：9,000千円 ・防災啓発に関する事業（展示委託、啓発パネル・動画作成委託）：7,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（若い世代（0～24歳）の転入超過数）（▲731人） ②地域の防災活動に参加している市民の割合（+2%） ③市民を対象とした訓練・防災啓発イベントの実施件数（+16件） ④市民を対象とした訓練・防災啓発イベントの参加者数（+6,450人） ⑤アジア・アジアパラ競技大会での防災啓発イベントの実施件数（+3件） ⑥アジア・アジアパラ競技大会での防災啓発イベントの参加者数（+1,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：若年層や子育て世代の定着・流入促進の実現に向けたシティプロモーションの推進事業

新規

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	155,777千円 (30,315千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内外へ本市の施策や魅力の浸透、市民の愛着や誇り（シビックプライド）の醸成、都市イメージの向上といった名古屋ブランドの確立を目標とし、名古屋が「住みたい」「働きたい」「訪れたい」「投資したい」魅力あふれる名古屋となることを目指す。 ・若年層・子育て世代をメインターゲットとして経済の活力である人の定着・流入を促し、魅力と活力にあふれ、日本中から人や企業をひきつける都市を目指し、持続的な発展・成長の実現に取り組む。これにより、地域外からの人材流入、観光・消費行動の活性化、企業活動の拡大といった経済波及効果が期待される。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・若年層や子育て世代をメインターゲットとして、交通広告やイベントによる認知体験とWEB広告の連動等の仕掛けを作り、他都市にはない、もしくは優れている名古屋の魅力や価値の発信を行い、名古屋の認知から名古屋の魅力理解、イメージ向上につなげていく。 ・名古屋の魅力や価値を創出・発信する企業等との連携の枠組み「ブランドパートナー制度」について、各々の活動を可視化し、共創が継続的に生まれる仕組みへ発展させ、広い領域への効果的・持続的なプロモーションを展開する。 ・特に転出が著しい東京圏を対象として、新たにプロモーションを実施することにより、名古屋への認知度を高め魅力的なイメージを持っていたが、転出抑制のみではなく、東京圏を中心とした他圏域からの人の呼び込みにつなげていく。 【R8年度事業 経費内訳】 ・ペイドメディアやイベント等の活用等（委託料）15,390千円 ・ブランドパートナーとの連携（委託料）7,623千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若い世代（0～24歳）の転入超過数（▲378人） ②名古屋市の推奨度（市内）（+14.7%） ③名古屋市の推奨度（東京）（+5%） ④ブランドロゴの認知度（市内）（+50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：高度人材雇用課題解決支援事業

新規

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	115,000千円 (44,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、高度人材の採用・育成・定着を一体的に支援し、市内中小企業における多様な人材の活躍機会を創出するものである。高度なITスキルや国際的な知見を持つ人材の受入れを促進し、企業のDX、新事業展開、海外展開を後押しする。また、教育支援や相談体制の整備により、高度人材が安心して働き続けられる環境を形成する。これにより、中小企業のイノベーション創出を促進し、地域産業の競争力強化と持続的な地域経済の発展につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 中小企業等による高度人材の採用・受入れを支援するため、民間企業が実施するマッチングや日本語支援等の新たなサービス構築を支援する。あわせて、インドの主要大学でのジョブフェア開催等により、IT・エンジニア分野を中心とした高度人材との接点を創出する。採用後は、日本語教育、マニュアル多言語化、OJT体制整備等に取り組む企業を支援し、育成環境の充実を図る。さらに、先輩高度人材による相談体制や企業間ネットワークを構築し、定着支援と好事例の横展開を進める。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○高度人材活躍支援事業（（公財）名古屋産業振興公社への事業補助 24,000千円） ・民間事業者が実施する、中小企業における高度人材の雇用を支援するサービス展開等の事業に対する補助 ・セミナー等の開催 ○高度人材交流支援事業（委託料 20,000千円） ・インド主要大学において、ジョブフェアを開催 ・キックオフセミナー、最終報告会開催						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市における昼間就業者1人あたりの市内総生産（+26万4千円） ②名古屋地域（市内3か所のハローワーク管内）における「技術・人文知識・国際業務」の在留資格者数（+5,040人） ③本事業による支援を受けた中小企業における高度人材の在留資格者数の増加数（+35人） ④本事業に参加し高度人材の確保に向けた取組みを行う企業数（+210社） ⑤ジョブフェア参加学生数（+1,320人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/k-eikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：「日本遺産有松」における文化資源を活かした観光地域づくり事業

新規

申請者	愛知県名古屋市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,000千円 (12,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	歴史的町並みや伝統産業である「有松・鳴海絞」、山車行事など、豊富な文化資源が残る有松地区において、地域・民間事業者・行政が一体的に日本遺産の取組を推進する体制を構築するとともに、地域が主体となった自立的な「観光地域づくり」を総合的・戦略的に行うことにより、文化資源の「保存」と「活用」の好循環を創出し、地域ブランドの確立や持続的な地域活性化につなげる。取組を推進することにより、多領域（観光業・小売業・飲食業など）に波及効果を生じさせ、文化・観光・産業の好循環を創出する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度 事業費	【事業概要】 地域・民間事業者・行政が一体的に日本遺産を推進する体制（協議会）を構築するとともに、①マーケティング調査、②戦略立案、③文化資源を活かした観光事業化（ツアー造成など）、④情報発信、⑤持続的な体制構築、⑥受入環境の充実 までを一貫して実施することにより、総合的・戦略的な「観光地域づくり」の取り組みをすすめる。 また、具体的な取り組みの成果を活かしながら、3年間のうちに地区内に「観光地域づくり」の司令塔的な機能・組織を構築し、地域が主体となった自立的な体制へと移行することにより、文化資源の「保存」と「活用」の好循環を確かなものとし、地域ブランドの確立や持続的な地域活性化につなげていく。					推進体制イメージ 有松地区「観光地域づくり」の司令塔的機能の強化 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○有松地区のマーケティング調査・情報発信・体制構築等に関する取組み ・マーケティング調査等（1,500千円） ・ウェブサイトの制作・運営（4,800千円） ・地域と連携した人材育成・体制構築等（900千円） ○文化資源の観光への活用（高付加価値化）等 ・ツアー、まち歩き、体験型プログラム、歴史的建造物のユニークベニュー活用等の各種プログラムを組合せた複合的なイベントの実施（4,800千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①有松地区における観光消費額（+0.5億円） ②地域の文化資源を生かした体験型ツアー・プログラム等の数（+15種類） ③日本遺産有松ウェブサイトのアクセス数（+3,000回） ④有松地区の公開施設・イベント等の来場者数（+4,500人） ⑤有松地区の宿泊客数（+700人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：都市農業を地域の誇りに！農業文化園・戸田川緑地の魅力向上事業

新規

申請者	愛知県名古屋市						初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R12年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,955,000千円 (0千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓			
目的・効果	本事業は、農業文化園・戸田川緑地を農を核とする交流拠点として再整備し、都市農業の振興と地域の賑わい創出を図るものである。産直施設や地産地消レストラン、収穫体験農園等を通じて、「なごやさい」など地元農産物の魅力を発信し、消費拡大と農業者の営農意欲向上につなげる。また、農業体験や食育活動を通じて、子どもたちの郷土愛を育み、将来の担い手育成を促進する。さらに、地域住民や子育て世帯が集う新たな交流空間を形成し、若い世代にも選ばれる地域づくりと地域経済の活性化を目指す。								
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 名古屋市随一の農業地域に位置する農業文化園・戸田川緑地において、都市農業の振興・地域のにぎわい創出を図るため、農を核とする都市公園として整備を行う。園内に設置する収穫体験農園において、担い手育成事業を展開する。また、子ども達への農業体験や食育活動を通じて、将来に渡り地域に住まいながら、活躍できる人材を育成する。そして、当該施設から、地元産ブランド「なごやさい」の魅力を発信することで、市民の農への理解醸成と、地元農産物の消費拡大を図り、農業者が安心して営農できる環境を整える。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタルサイネージ等を活用した広報活動、開園PRイベントの開催 「なごやさい」を買って、食べて、体験できる地産地消イベントの開催 0千円 ○拠点整備事業 ・産直施設、地産地消レストラン、展示施設、講習施設、屋外トイレ、温室、駐車場サイン施設等の整備 0千円 ○インフラ整備事業 ・園路広場、植栽、休養施設、遊戯施設、教養施設（体験農園）の整備 0千円						 		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業の実質市内総生産（+192百万円） ②地域の人口（▲1,870人） ③来園者数（+325,491人） ④体験農園の利用者数（+3,271人） ⑤産直施設・地産地消レストランの売上額（+27,898千円） ⑥市内で身近に農にふれあえる機会があると思う市民の割合（+8.8%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.nagoya.jp/shisei/k-eikaku/1004516/1004572/1004580.html

事業概要：多目的屋内施設を核とした笑顔と活力に満ちたまちのにぎわい創出プロジェクト

継続

申請者	愛知県豊橋市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,300,000千円 (80,890千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市民が気軽にスポーツに親しみ自発的な健康づくりを促進するとともに、国内トップレベルのプロスポーツやコンサートなど人々を惹きつける魅力的なコンテンツを発信し、地域内外から多くの人を呼び込み、その集客による経済効果を飲食、宿泊、観光など周辺産業や中心市街地に波及させることで、まちなかのにぎわい創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業では、豊橋公園東側エリア内に多目的屋内施設の建設及び周辺公園施設の再整備を実施する。多目的屋内施設は、プロスポーツやコンサート、MICEなどを開催できる5,000人以上を収容するメインアリーナをはじめ、サブアリーナ、武道場や弓道場などを完備し、多様なスポーツ利用に対応することができる集約・複合施設として整備する。災害時には受援のための活動拠点や支援物資の輸送拠点等として活用する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計費 38,624千円 (観覧席 (VIPルーム)、移動観覧席収納、ホワイエ、楽屋、監督室等) 多目的屋内施設の実施設計を行う。 ○インフラ整備事業 ・実施設計費 42,266千円 (メインアリーナ等) 市民利用や一般のスポーツ大会での活用をはじめ、国内トップレベルのスポーツや世界のエンターテインメントの観戦、鑑賞が可能な施設である多目的屋内施設のメインアリーナを整備する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口 (若者世代 (20～39 歳) の転出超過数) (－1,400人) ②市民意識調査で「中心市街地のにぎわいが5年前と比べ増している」と回答した市民の割合 (+25%) ③多目的屋内施設年間利用者数 (+396,400人) ④多目的屋内施設におけるBリーグの平均入場者数 (1試合あたり) (+4,680人) ⑤観光入込客数 (年間) (+450,000人) ⑥市内宿泊施設への年間宿泊者数 (+270,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyohashi.lg.jp/63718.htm

事業概要：オクオカイノベーション事業

旧制度（推進）

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	362,757千円 (67,808千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本事業は、中山間地域の豊かな自然や地域資源を活かし、関係人口の創出・拡大と移住・定住の促進を図るものである。地域住民主体による地域活動や交流の場づくりを進めることで、地域コミュニティ機能の維持・強化につなげる。また、耕作放棄地の活用や伝統産業「三河漆」の復興等を通じて、地域資源を次世代へ継承する。さらに、多様な働き方や地域との関わり方を実現できる環境を整備し、持続可能で魅力ある中山間地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 既存施設を活用し、移住相談窓口の設置、移住体験ツアー、空き家情報の集約等を実施し、移住・定住支援体制を構築する。また、テレワーク環境の整備や地域商社との連携により、半農半Xや複業など多様な働き方を支援する。地域住民主体で地域計画を策定し、交流活動や生活インフラ確保等に取り組む地域活動拠点を形成する。加えて、耕作放棄地を活用した漆栽培や地域資源調査を進め、伝統産業の復興や新たな地域産業の創出につなげる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・既存施設のイノベーション（委託料）23,948千円 民間活力導入に向けた地域内施設活用方法検討及び地域住民による地区別計画作成支援等を実施 ・耕作放棄地のイノベーション（委託料）32,860千円 漆の育成手法検討及び植栽を実施 ・施設改修工事（工事費）11,000千円 地域活性化を図るために、活動拠点として地域内施設の改修実施		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林業体験イベントを通じて移住相談へつながった人数（+29人） ②複業人材の育成人数（+4人） ③中山間産品ふるさと納税返礼品設定数（+25件） ④新規で漆を植栽した耕作放棄地等面積（+19.0ha）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okazaki.lg.jp/shisei/shingikai/1008369/1008370/1008371.html



申請者	愛知県岡崎市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	25,612千円 (3,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、公民連携による分野横断的な課題解決を推進し、多様化・複雑化する地域課題に対応できる持続可能な地域づくりを目指すものである。行政と民間事業者が対等な立場で対話・連携することで、公民連携の担い手育成と新たな挑戦を促進する。また、異業種間の交流や実践の場を通じて、地域課題解決に向けた新たなアイデアやネットワークを創出する。これにより、市民サービスの質向上や地域活力の向上を図るとともに、地域や経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 まち・ひと・しごとづくりの全分野を対象としたプラットフォームとして、「普及啓発・人材育成機能」「情報発信・公民対話機能」「異業種間の交流機能」を有する「行政課題の解決を通じて新たな市場の創出を図るための公民の対話の場」である「SDGs公民連携プラットフォーム」として構築する。 併せて、公民連携プラットフォームの出口戦略として公民対話で創出される地域課題の解決方針について、民間事業者から公民連携事業の提案を公募により受け付け具体的な公民連携事業として実現するため、公民連携相互提案制度を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公民連携課題の解決に向けた与件整理・出口精査：1,185千円 ・公民連携課題の解決に向けた与件整理や出口戦略の精査を行う。 ○民間提案募集制度における事業構築：670千円 ・テーマ型・フリー型の事業募集を行い、多様な地域課題に対応できる公民連携の担い手を育成する。 ・事業募集を通じた提案、事業化の伴走により事業構築を促進する。 ○公民連携課題の解決に向けた実証実験の実施：1,645千円 ・プラットフォームでの取扱い案件のうち初期支援が必要な事業について、事業化に係る実証実験とその後の事業化検討支援を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs公民連携プラットフォームの参加者数（+125者） ②公民連携相互提案制度の参加者数（+11者） ③公民連携相互提案制度のフリー型で提案された事業の件数（+5件） ④公民連携相互提案制度による新規事業の創出件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okazaki.lg.jp/shisei/shingikai/1008369/1008370/1008371.html

事業概要：地域資源ブランディング事業

旧制度（推進）

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,959千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農産物のブランド力を更に引き上げるため、地消地産の考えに基づく「岡崎ならではの」価値を付加した新たな特産品を農業者と地域関係者が協働で創出し、本市の交流拠点となる地域において特産品の魅力を発信することで、関係人口、交流人口を増加させ、地域の賑わいを創出するとともに、農産物の消費拡大を図り、農業所得を増加させ、持続可能な農業経営基盤の構築の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本市農林産物と歴史・文化資源を組み合わせ、「岡崎ならではの」をテーマとした特産品や食のブランディングを実施する。具体的には、純岡崎産ワインのブランド化支援や、家康公の健康食・薬草等に関する地域資源の調査・商品化を進める。また、農家や加工・販売事業者と連携し、新たな食メニューや特産品の開発支援、有機農業等の実証栽培、人材育成に取り組む。加えて、スマート農業の導入支援や専門コンサルタントによるプロモーションを通じて、地域資源の総合的な魅力向上と消費拡大を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域資源の新たな発掘・活用調査 2,995千円 ・家康めし等ブランディング 4,950千円 ・地域振興施策の検討 1,320千円 ・スマート農業実証ほ場整備費 10,735千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①家康めし等に使用する農産物出荷額（+300千円） ②関係者、スマート農業実践者数（+6人・団体） ③家康めし等取扱店舗数（+3店） ④家康めし等商品開発数（+7点）	URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.okazaki.lg.jp/shisei/shingikai/1008369/1008370/1008371.html

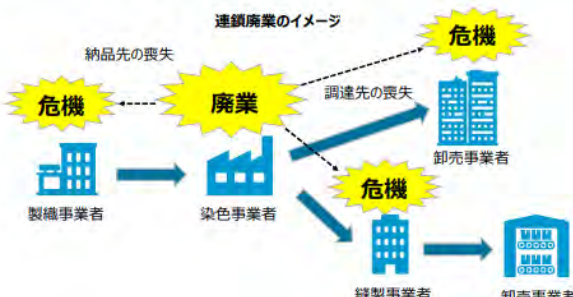


繼續

申請者	愛知県一宮市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	828,000千円 (44,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 木曽川河川敷に位置する富田山公園に芝生広場、遊歩道、親水空間を新たに整備し、公園内にある民間施設の利用者数の増加を図るとともに、多世代にわたり公園周辺の水辺が楽しいと思える拠点とする。 - 木曽川沿いにあるサイクリングロードのうち未整備区間の全てを完成させ、市の観光資源である木曽川へ自転車にて訪れることにより、河川区域の利用者数の増加を図り、富田山公園周辺と一体となった広域的な観光拠点とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木曽川河川敷に位置する富田山公園周辺を「水辺と親しむレクリエーション拠点」と位置づけ、芝生広場、遊歩道、親水空間等を整備する。親水護岸の整備により木曽川へ降りられる環境を創出し、自然体験や環境学習、舟運文化を活かした利活用を進める。また、木曽川サイクリングロードの市内未整備区間を整備し、国営木曽三川公園等の沿川拠点をつなぐ広域的なネットワークを形成する。加えて、民間活力を活用した公園整備やイベント連携、サイクリスト受入環境の充実を図り、木曽川沿川の新たなにぎわい創出を推進する。					富田山公園整備イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・サイクルツーリズム事業 5,000千円 可動式便益施設の計画的運用のために行う調整及び社会実験イベント等の開催支援を行い、サイクリングロードの利用促進策を検討する。 ・協議会支援事業 5,000千円 今後の利活用方針等の検証等を行う。 ○拠点整備事業 ・富田山公園整備事業 20,000千円 ・木曽川サイクリングロード整備事業 14,000千円						
主なKPI	①一宮市への転入者数 (+275人) ②河川区域の利用者数 (+40,000人) ③公園周辺の水辺が楽しいと考える割合 (+10%) ④民間施設の利用者数の増加 (+5%)					URL	令和9年3月までに公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：繊維企業海外販路開拓事業

新規

申請者	愛知県一宮市、岐阜県羽島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	102,000千円 (34,800千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	繊維産業の海外販路を開拓・拡大を目的に、欧州におけるサステナビリティ対応のための国際認証取得を支援することで、海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、質の高い繊維製品の輸出を促進する。また、繊維産業のサプライチェーン強靱化を目的として、設備投資の支援を行うことで、生産性の向上と共にサプライチェーンの一部のボトルネック化を防ぎ、円滑な事業承継やM&Aを推進することで繊維産業の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 高い魅力を有する地域資源である毛織物等を製造する繊維産業は地域の雇用を支える基幹産業である。しかし近年、就業者数の減少や設備の老朽化、さらに欧州で強化される環境・人権に関するサステナビリティ規制の影響により、尾州産地を取り巻く状況は大きく変化している。国内需要の低下も加わり、尾州産地が存続するためには、サステナビリティも含めた付加価値の高い製品を製造し、海外市場を積極的に開拓することが不可欠である。また、尾州産地は工程ごとに事業者が分業し、その工程が一宮市と羽島市に跨っているため、国際認証対応やサプライチェーン維持には両市の広域連携が不可欠である。そのため、地域未来交付金を活用して、サステナビリティ対応・サプライチェーン強靱化を支援し、地域経済全体の活性化を目指す。					サプライチェーン毀損による連鎖廃業のリスク • 地域のサプライチェーンを担う特定の事業者の廃業が、その取引先だった事業者の事業継続にも大きな影響を与え、地域産業全体に影響が及ぶ可能性がある。 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・国際認証の取得費用を補助（補助金）24,000千円（一宮市） 4,800千円（羽島市） 海外販路開拓を活性化するために、国際認証取得に係る経費を補助する。 ・海外展示会出展費用の補助（補助金）2,000千円（一宮市） 海外展示会において、尾州繊維事業者の出展費用の一部を補助する ・サプライチェーン強靱化の為の繊維生産設備導入費用 4,000千円（一宮市）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の製造業製造品出荷額（+214億円） ②国際認証取得繊維企業数（+21企業） ③海外取引にかかる製造品出荷額（+18億円） ④海外展示会等出展企業数（+14企業） ⑤繊維生産設備導入件数（+19企業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【一宮市】 https://www.fdc138.com/ 【羽島市】 令和8年7月公表予定

申請者	愛知県瀬戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,500千円 (18,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スタートアップを始めとする民間企業との官民・民民連携を進めることで、地域産業である瀬戸焼（窯業）を始め、市内中小企業等の特性や価値を最大限に生かした新たな商品・サービス・価値を生み出すことにより、地域産業の魅力・付加価値を向上させる。 ・市内における雇用の創出や持続可能かつ発展性を有する地域産業へと変化することにより、地域経済活性化の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「スタートアップとのマッチング支援による地元企業の生産性及び付加価値の向上事業」及び「新商品・新事業開発のための環境整備及び新商品等展開事業」によるオープンイノベーション等を推進することにより、国際的な競争力や新たな価値の創出、環境変化への対応等を目指し、2029年に迎える瀬戸市制施行100周年に向けて、新産業への変化や創出を促進しつつ、日本遺産を活かした観光施策と地域産業を連携させることにより「新しく生まれ変わる 瀬戸市」を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○スタートアップとの連携強化による生産性及び付加価値の向上事業 ・STATION Aiとの連携強化のため、STATION Aiに入居する費用（700千円） ・専門のコーディネーター配置にかかる委託料（3,880千円） ・相談窓口の設置費用（2,920千円） ・スタートアップ企業との実証費用の補助（2,500千円） ・展示会等への出展費用補助（3,100千円） ・職場環境の魅力づくりへの補助（600千円） ○新商品・新事業開発のための環境整備事業 ・自社分析、新商品・新規事業の立案、サンプル開発等を含む実践式講座の開催、個別支援等（委託料）（3,000千円） ・マーケティング・プロモーション費用（700千円）						
主なKPI	①市民一人あたり法人市民税額(+634.2円/人) ②瀬戸市・市内企業・スタートアップ企業におけるマッチング件数(+30件) ③瀬戸市・市内企業・スタートアップ企業との連携件数(+12件) ④瀬戸市・市内企業・スタートアップ企業との連携による新商品・サービス等の開発件数(+5件) ⑤市内の事業所に就職し、市内に移住または定住した人数(+45人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月までに公表予定

事業概要：郷土の歴史・文化継承及び文化観光推進拠点整備事業

新規

申請者	愛知県瀬戸市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	670,500千円 (29,500千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・未活用の学校跡地を活用し、市内に点在する文化財を集約して本市の歴史や文化を広く発信する拠点を整備する。 ・地域住民も参画したイベント運営を行い、地域資源の再認識から愛着・誇りの醸成につなげ、関係人口とともにまちづくりに参画する「活動人口」の創出を目指す。 ・他施設や既存イベントと連携した事業を展開し、「やきもの」という文化資源を活用して来訪者の獲得を図るほか、市内回遊性を見据えたイベントの実施をとおして、経済効果を拠点エリアから全市的に広く波及させ、地域経済の活性化を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・未活用の学校跡地を活用し、市内に点在する文化財保管施設に保管しているやきもの文化や郷土の歴史・文化を継承する文化財を集約・収蔵・展示し、広く本市の歴史や文化を発信する拠点を整備する。 ・市内多文化施設や既存イベントとの連携をすすめ、地域全体でやきもの文化の振興を図るほか、地場産業である陶磁器産業の付加価値向上、市内全域への経済効果の波及を目的に、本市のやきもの文化・歴史を感じられるイベントや、市内回遊型のイベントを実施する。 ・拠点と当該地域を結ぶアクセス道路や、拠点施設に隣接する公園を整備し、広域的な視点で文化振興まちづくりを推進する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・郷土の歴史・文化継承及び文化観光推進拠点 拠点施設改修設計業務 20,000千円 拠点施設一部改修工事 8,000千円 文化財運搬・保管ケース作成業務 1,500千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①定住人口の減少の緩和（▲4,500人） ②関係人口の創出（拠点施設の来館者数）（+5,000人） ③関係機関との連携事業数（+6事業） ④文化資源保管施設の集約数（+4施設）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月までに公表予定

申請者	愛知県瀬戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,308,000千円 (5,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・未活用の学校跡地周辺を活用し、地域活性化、新たな賑わい創出の場となる交流拠点と公園を整備する。 ・スタートアップをはじめとする企業や関係人口との交流による地域課題の解決、地域活性化につながる共創を進める。 ・交流拠点と公園を瀬戸市全体の好循環や賑わいの創出、地域経済の循環につなげるスタート地点としていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 25～39歳までの若者の社会減や少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化など、人口減少社会での地域のあり方が課題となっている。未活用の小学校跡地を活用し、スタートアップをはじめとする企業や関係人口と地域が交流し、新たな地域経済活性化・コミュニティ形成の拠点を整備する。 また、交流拠点と合わせて公園を整備することで、子育て世代に選ばれ、地域で子どもを育てる環境整備を進めるとともに、人の流れを生み出すイベント実施スペースとして、賑わい創出につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○コンセプトプラン策定支援業務 委託料 (5,000千円) ・ローカルプレイヤー・地域資源の調査 ・ローカルプレイヤーとのフィールドワーク・ワークショップの実施 ・事業構想・空間コンセプトの作成 関係人口が交流し、地域全体の賑わい創出・経済活性化につながるまちづくりの進め方・拠点配置を構想・立案するコンセプトプランを専門的な知見を有する事業者等の支援を受けて策定する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若い世代の住みやすさ (30代の人口) (▲785人) ②交流拠点施設の利用者数 (+250人) ③交流拠点施設等でのイベント開催数 (+9回) ④地域住民等による新たな交流創出件数 (+5件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月までに公表予定

事業概要：半田市中心市街地活性化推進事業

旧制度（推進）

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	262,124千円 (104,473千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 来街、活動の多様な目的にかなう場づくり・環境づくりを行い、中心市街地エリアの価値の向上を図る。 - 中心市街地に創業等の様々なチャレンジができる機会や場所を設け、まちづくりの担い手の育成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 名鉄知多半田駅とJR半田駅の間に「創造・連携・実践センター」を整備し、創業支援や人材マッチング、交流促進を行う。また、近接公園や駅前ロータリー等の公共空間を活用し、キッチンカー出店、マルシェ、商業・まちづくりイベント等を実施する。さらに、デジタルサイネージの設置、チャレンジショップの展開、リノベーション補助等により、中心市街地内の回遊性向上を図る。加えて、中心市街地活性化協議会を設置し、官民連携による継続的な推進体制を構築する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○企業・創業支援に向けて、1年目に設置した「創造・連携・実践センター」の活用や近隣地の再整備を行う ・同センターの指定管理（委託料）22,479千円 ・近隣公園の再整備（7,260千円） ○中心市街地エリア内の回遊性の向上と賑わい創出を図る ・ナイトタイムエコノミー創出業務（委託料）6,600千円 ・半田運河誘客スポット設置（委託料）8,614千円 ○官民連携による中心市街地活性化に向けて、半田市中心市街地活性化協議会での合意形成を図る ・同協議会運営費負担金（負担金）5,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+63人） ②「創造・連携・実践センター」の利用者の創業件数（+50件） ③「創造・連携・実践センター」の来館者数（+9,900人） ④名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（平日）（+700人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003859.html （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html		



申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,647千円 (7,549千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	半田国際交流協会のノウハウ及びネットワークを活用し、各種団体や企業等との連携体制を構築するとともに、多文化共生の取組を進める。これにより、日本人だけでなく外国籍市民にとっても安心して暮らせる魅力あるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 多文化共生を支える人材を育成するため、共生意識の基盤づくりである外国籍市民とのコミュニケーションツールである「やさしい日本語」講座を展開するとともに、市民が主体的に活動できる仕組みとして「多文化共生サポーター制度（仮称）」を新たに創設する。また、半田国際交流協会を中心に、団体や企業など、様々な主体が連携して参画する「多文化共生ネットワーク会議（仮）」を設立し、協働事業を通じて連携体制を強化する。それらに加えて、外国籍市民の生活環境を整備し、誰もが暮らしやすいまちを実現するため、生活に密接に関わる支援事業も合わせて展開する。					【推進体制】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・多文化共生サポーター制度（仮称）等による人材育成（委託料）817千円 ・多文化共生ネットワーク会議（仮称）による連携体制の構築、団体支援（委託料）1,069千円 ・外国籍市民向け生活相談窓口の運用、外国籍市民向けSNSでの情報発信（委託料）1,642千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲1,274人） ②長期滞在している外国籍市民の割合（5年以上）（+18%） ③外国籍市民と共生できていると思う人の割合（+4.5%） ④多文化共生サポーター登録者数（+60人） ⑤外国籍市民向けSNSフォロワー数（+871人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003859.html （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：（仮称）成岩地域交流施設整備事業

継続

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	435,973千円 （60,519千円）
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市内の小学校の敷地内に「（仮称）地域交流施設」を整備し、継続的に地域内の3世代や関係団体が連携する機会等を創出することにより、広域的な小学校区コミュニティの構築及び活動の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 小学校区コミュニティの構築及び地域コミュニティ等の自治活動の活性化の拠点として「（仮称）地域交流施設」を整備する。小学校の敷地内に本施設を整備し、交流ラウンジやライブキッチン等の複合的な機能をもたせることにより、小学校コミュニティ及び自治会と若い世代を始めとした多様な住民との接点の創出を図るとともに多様な住民ニーズに応える環境を整え、安心・安全で暮らしやすいまちづくりにつなげる。小学校区コミュニティの構築後には、小学校区コミュニティが本拠点の管理・運営を担うが、単に施設管理を行うだけでなく、本施設を活動拠点として小学校区コミュニティが区域内の各自治会や小学校、市民活動団体、事業者等と協力関係を築き、連携して地域課題の解決に自立的に取り組んでいく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 （仮称）成岩地域交流施設の開館に向けた外構工事・備品整備を行う。 ・外構工事（工事請負費） 51,700千円 ・備品整備（備品購入費） 8,819千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①小学校区域内の人口（▲175人） ②（仮称）成岩地域交流施設整備事業の利用者数（+18,000人） ③対象施設で実施された取組やイベントの総回数（+36回） ④地域課題の解決に向けた協議会の開催回数（+12回） ⑤これからも半田市に住み続けたいと思う市民の割合（+17.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003859.html （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：半田赤レンガ建物リニューアル事業

新規

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	124,864千円 （124,864千円）
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・半田赤レンガ建物の文化施設としての意義と観光施設としての意義の両方をふまえて本事業を進めることにより、本市の総合戦略に掲げるまちへの愛着醸成と観光振興を一体的に目指す。 ・これまで訴求力の弱かった子育て世帯をターゲットとして、日常的に訪れたい場所となるよう整備を行うことで、子育て世帯の半田赤レンガ建物への来館を増やし、子育て世帯の満足度を高めるとともに、本市の歴史や文化に親しめる機会を生み出してまちへの愛着醸成を図るとともに、来館者の増加による建物内での消費の活性化、建物内の消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 子育て世帯が安心して楽しく過ごせる場所とするため、常設展示室をリニューアルし、子育て環境に対する満足度の向上を図る。また、新たな常設展示を通じて、子どもたちの郷土への理解を深め、本市への愛着醸成につなげる。さらに、施設に隣接する場所に子どもが水遊びを楽しめる親水施設を整備し、夏季及び夏休み期間中の新たな遊び場を提供する。これにより、子育て世帯が親水施設と常設展示室を併せて利用する動線が生まれ、両施設の相乗効果による来館者数の増加を見込む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・半田赤レンガ建物内の常設展示室のリニューアル（委託料）68,434千円 子どもたちが楽しみながら学べるように展示室のリニューアルを行う。 ・親水施設整備（工事費）56,430千円 建物に隣接する芝生広場及び既存水路を改修し、水遊びができる親水施設を整備する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲1,198人） ②半田赤レンガ建物の来館者数（+30,000人） ③半田赤レンガ建物における観光消費額（カフェ、物販、入館料）（+16,090千円） ④常設展示室の入館者数のうち、中学生以下の人数（+2,858人） ⑤半田市に愛着を感じている市民の割合（39歳以下）（+12.3%） ⑥半田市で子育てがしやすいと思う市民の割合（39歳以下）（+21.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和 9 年 3 月までに公表予定 （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：名鉄知多半田駅前整備による賑わい創出事業

新規

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,085,285千円 (8,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・駅周辺を、通勤・通学等のために単に通行する場所ではなく、目的を持って訪れる場所、また鉄道利用者にとっての日常的な居場所として、滞在や消費、様々な活動が行われる場となるよう整備を進め、駅前周辺の賑わいを創出し、その相乗効果として、駅周辺への店舗出店や企業投資の促進を図る。 ・駅前周辺に滞留者や事務所を構える企業を増やすことで、駅前周辺の消費力を高め、飲食店等の出店を促進するとともに、魅力的なまちの形成による居住者の増加につなげていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 令和9年度にインフラ事業及び令和10年度の拠点整備事業として、名鉄知多半田駅東側ロータリーのリニューアルを行い、歩行者が滞留し、消費や活動の拠点となる居場所を整備する。また、令和8年度には、ソフト事業として既存の駅前空間にストリートファニチャー（ベンチやテーブル等の滞留を促す設備）の設置と利用者への周知・交流の取組（オープンハウス企画等）を実施する。これにより、ソフト事業・拠点整備事業・インフラ整備事業を一体的に進めることにより、ハード・ソフトの両面からより魅力的な駅前空間の形成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・駅前空間活用事業（委託料）4,500千円 駅前でのイベント等の開催時や日常的なストリートファニチャー利用時に合わせて、オープンハウスやフィールドワークを実施する。 ・ストリートファニチャーの設計・製作・設置（委託料）3,500千円 知多半田駅前広場の整備に向けて、ストリートファニチャー（ベンチやテーブル等の滞留を促す備品や設備）の整備を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲1,628人） ②知多半田駅前広場の利用（通行）人口（+582人） ③知多半田駅前広場の滞留人口（15分以上滞在した者）（+248人） ④知多半田駅前広場での活動回数（+24回/年） ⑤知多半田駅前広場のキッチンカー（屋台・露店含む）出店事業者数（+26者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和9年3月までに公表予定 （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：彼岸花咲く新美南吉のふるさと活性化事業

新規

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,160千円 (5,720千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、新美南吉と「ごんぎつね」の舞台である矢勝川堤の彼岸花を地域資源として磨き上げ、交流人口・関係人口の拡大を図るものである。彼岸花の整備や活用に関わる新たな担い手を市内外から確保・育成し、地域住民、企業、学校等が継続的に参画できる体制を構築する。また、新美南吉や彼岸花のストーリー性を活かした情報発信により観光誘客を促進し、市内周遊や消費拡大につなげる。さらに、地域資源を活用した持続的な交流の創出を通じて、地域活力の向上や地域経済の活性化、定住促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 彼岸花の整備の体制を抜本的に見直し、これまでボランティアに依存していた状況を改め、市民、企業、団体、学校など多様な主体が参画できる体制への転換を図る。その推進主体となるNPO法人「ごんのふるさとネットワーク」に対しては、令和8年度から新たに活動経費の補助等を行い、当該法人の取組を支援するとともに、彼岸花整備の担い手の拡大を進める。また、新美南吉記念館及び彼岸花の矢勝川堤への来訪者の最も多い「ごんの秋まつり」のイベント時において、地元住民と「ごんのふるさとネットワーク」が連携して取組を実施することで、観光客（交流人口）が彼岸花整備の担い手（関係人口）へ発展する契機を創出する。さらに、市内の住民、企業、団体、学校へ取組が波及、浸透することにより、担い手の一層の拡大と、新美南吉や彼岸花の景観への関心向上を通じた地域への愛着醸成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・NPO法人「ごんのふるさとネットワーク」への補助（補助金）4,720千円 …矢勝川堤の彼岸花植栽活動を継承し、個人、企業、団体、学校等が広く関わって管理していく体制を構築するために必要な費用を補助するもの。 ・彼岸花の魅力をPRする団体の活動に対する補助（補助金）1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲768人） ②ごんのふるさとネットワークの市外住民のボランティア参加人数（+67人） ③ごんのふるさとネットワークのボランティア活動の実施回数（+12回） ④ごんのふるさとネットワークの協力団体数（+19団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和9年3月までに公表予定 （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：スポーツを軸としたまちづくり推進事業

新規

申請者	愛知県半田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,175千円 (36,178千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、アーバンスポーツやニュースポーツを活用したイベント及び拠点整備を通じて、市内外から人を呼び込み、新たな交流とにぎわいを創出するものである。特に、商業施設や観光エリアを活用した大会・体験会の開催により、来訪者の滞在や周辺消費を促進し、地域経済の活性化につなげる。また、スポーツをきっかけに若い世代や子育て世代の地域への愛着醸成を図り、交流人口・関係人口の拡大を通じた移住・定住促進を目指す。さらに、スポーツ団体の自主的な活動や情報発信を後押しすることで、継続的な集客や地域消費を生み出す地域活性化の好循環を形成する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 令和8～10年度のソフト事業として、レクリエーションとして楽しめるニュースポーツやアーバンスポーツ等の大会や体験会等を開催し、スポーツに親しめる機会を作り出していく。また、令和8年度の拠点整備事業として、本市の都市緑地「潮風の丘緑地」をアーバンスポーツ等が実施可能な施設として再整備することにより、多くの人々がスポーツに親しめる場を提供していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スラックライン体験会の開催に係る（委託料）478千円 スラックラインの体験会を本市の「はんだふれあい産業まつり」の中で開催する。 ○拠点整備事業 ・潮風の丘緑地多目的広場のリニューアル（工事請負費）35,699千円 スケートボードやBMX等で利用できるコンクリート舗装の広場やセクション（技を行うための構造物）、バスケットボール（3 X 3）のコートを設置する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①半田市の人口（▲1,198人） ②市及び民間団体の主催によるスポーツイベントの実施回数（+6回） ③半田市スポーツ協会加入者数（+480人） ④潮風の丘緑地多目的広場の利用者数（+1,534人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和9年3月までに公表予定 （効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要：毎年社会増1,000人を目指した、みんな輝くとよかわプロジェクト

継続

申請者	愛知県豊川市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	114,902千円 (46,313千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・創業・起業支援及び事業深化・探索支援を加速させることにより、既存事業者、新規参入者ともに持続的な経営を図る。 ・就労者が就業しやすい環境整備等を実施し、働く人が集まり、地域経済が元気なまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本市では人口減少や産業生産力の低下により地域経済の活力が低下している。この状況を打破するため、創業・起業支援やスタートアップ連携、既存企業の販路拡大、脱炭素経営等の支援を行い、魅力的なしごとを創出する。併せて預かり保育の充実や若年者・高齢者の就労支援等により働きやすい環境を整備する。これらにより、働く人が集まり地域経済が元気なまちの創生を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・創業・起業支援事業（委託料等） 3,262千円 ・新事業創出支援事業（委託料） 16,797千円 ・とよかわ商人塾運営等（補助金等） 9,625千円 ・とよかわブランド推進事業（補助金等） 2,500千円 ・事業承継相談支援（委託料等） 200千円 ・脱炭素経営支援（委託料等） 9,000千円 ・女性悩みごと相談会等（委託料等） 2,232千円 ・ちょこっとサポート事業（委託料） 1,836千円 ・若年者就労支援（委託料） 861千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①有効求人倍率（+0.15倍） ②商業者の販路拡大・多店舗化に関する計画策定件数（／年）（+6.0件） ③市内におけるシルバー人材センターの登録者数（+150人） ④創業者数（／年）（+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.toyokawa.lg.jp/shiki/sangyokankyo/shokokanko/2/6/5/3/3749.html （効果検証） https://www.city.toyokawa.lg.jp/sohiki/kikaku/kikakuseisaku/2/7/3/1/1140.html

事業概要：豊川稲荷の御開帳を契機とする交流・定住人口の増進

継続

申請者	愛知県豊川市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	348,800千円 (182,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市の観光資源である豊川稲荷が72年ぶりとなる午年開帳（令和8年）、大開帳（令和12年）を予定している。全国から大きな集客がある御開帳を契機として、拠点地区の再整備やソフト事業を進め、シティセールスを推進し、交流人口をさらに増加させ、地域経済の活性化を図る。さらに、知名度の向上などにより交流人口と定住人口の増加の好循環を促し、持続可能な都市経営を推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 豊川稲荷の午年開帳及び大開帳を契機として、中心市街地である豊川地区の魅力向上と賑わい創出を図る。稲荷公園周辺におけるイベント開催や、自動運転移動サービスの導入検討、豊川駅周辺交通施設の整備検討を実施し、回遊性や利便性の向上を推進する。また、豊川稲荷周辺において、無電柱化や歩道整備、公園再整備等のインフラ整備を進め、快適な歩行空間や景観形成を図る。これらの取組を一体的に実施することで、交流人口の増加や地域経済の活性化を促進し、定住・関係人口の増加につなげる。					都市公園事業 おもてなしイベント  駅周辺施設再整備検討調査 自動運転移動サービスの社会実験	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・午年開帳にあわせたイベント事業（委託料）2,000千円 ・自動運転移動サービスに関する事業（委託料）46,800千円 ・豊川駅周辺交通施設にかかる調査検討事業（委託料）3,900千円 ○インフラ整備事業 ・国営公園等事業（都市公園事業）130,000千円 周辺の回遊性を向上させるため稲荷公園の再整備を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「豊川市の住みよさ」市民満足度（+0.6%） ②「安全・安心」市民満足度の平均値（+0.05pt） ③年間観光入込客数（+59万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyokawa.lg.jp/sos/hiki/kikaku/kikakuseisaku/2/7/3/1/1140.html

事業概要：人の流れを起点とした未来を支える地域経済の基盤強化

新規

申請者	愛知県豊川市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	192,392千円 (55,486千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源を生かした産業の付加価値向上と人の流れの創出により、若者の流出抑制と首都圏からの人材の呼び込みを図り、持続的に発展する地域経済の基盤を強化することを目的とする。 ・関係人口・交流人口の拡大や移住・定住の促進を通じて、地域産業の担い手確保と新たな雇用創出が進み、地域経済の好循環と将来にわたる活力の維持が期待される。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 地域経済の持続的発展に向けた基盤整備として、地域の魅力向上と認知度向上を一体的に推進する。豊川稲荷の御開帳を契機とした観光機能強化やインバウンド対応、地域資源の掛け合わせによる付加価値向上に取り組むとともに、「オール豊川」による魅力発信を通じて、愛着度の向上を図り、移住・定住を促進し、地域経済の活性化へとつなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光地としての機能強化に係る経費（委託料、負担金） 9,617千円 ・ブランド力の向上に係る経費 34,854千円 (①「スポーツ」強化（負担金、委託料） 4,500千円 ②「スポーツ」×「食」×「花」×「文化」（需用費、委託料） 5,569千円 ③インナープロモーション（報償費、旅費、委託料、補助金） 24,785千円) ・「オール豊川」によるシティプロモーション（需用費、役務費、委託料、賃借料、負担金、補助金） 10,893千円 市民を含む多様な主体が一体となった「オール豊川」によるシティプロモーションに向け、本市の一体感を醸成するため、市民や地元企業、団体等と連携したイベントの開催やPRを行う。市民が地域の魅力を再認識するきっかけの一つとなるインナープロモーションに取り組む。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光入込客数（+37.9万人） ②SNS登録者数（+8,931件） ③本事業で実施したスポーツイベント延べ参加者数（+553人） ④年間宿泊者数（+2.52万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/kikaku/kikakuseisaku/2/7/3/1/1140.html

事業概要：若者・女性に選ばれる持続可能な地域公共交通事業

継続

申請者	愛知県津島市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,282千円 (18,307千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、若者・女性にとって利用しやすい公共交通サービスを構築することで、通勤・通学環境の向上と移住・定住の促進を図るものである。特に、名古屋市や近隣市町村へのアクセス性向上や、分かりやすい情報提供を進めることで、日常生活における移動の不便さを解消し、「暮らしやすいまち」としての魅力向上につなげる。また、若者・女性の視点を取り入れた情報発信や愛着醸成の取組を進めることで、公共交通への親近感や利用意欲を高める。これにより、若い世代が安心して暮らし続けられる環境を整備し、「若者・女性に選ばれる津島」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 通勤・通学時に最寄りの駅まで巡回バスを利用してアクセスできるよう、通勤・通学時間帯に巡回バスを運行する実証実験を実施し、ルートやダイヤを見直した上で、新たな形での巡回バスの運行を開始する。また、運行の開始に合わせて、DXの一環としてデジタルマップやデジタルチケットなどの導入や官学連携による時刻表・運行ルートマップ等の作成する。					デジタルマップイメージ図 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・愛称及びマスコットキャラクターの制作事業 1,987千円 ・デジタルマップ導入事業 748千円 ・時刻表・運行ルートマップ作成事業 2,072千円 ・停留所標識の制作及び設置事業 5,000千円 ・停留所周辺の環境整備事業 8,500千円 愛称及びマスコットキャラクターの作成事業やデジタルマップの導入など巡回バスの利用促進に向けた事業を実施する。また、新しいルートやダイヤにおける巡回バスの運行に向けた停留所の設置や停留所周辺の環境整備を実施する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20歳から29歳までの社会増減数の縮小数（+11人） ②1日あたりの乗車人数（+100人） ③デジタルマップの年間閲覧回数（+1.1万回） ④広告事業収入（+800,000円） ⑤デジタルチケットの購入者数（+50人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsushima.lg.jp/s-hisei/machidukuri/sougousenryaku/kaisaijoukyo.html